## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名							862-0973					
熊本デザイン専	門学校	平成5年	12月24日	校長	内藤謙一	(住所)	熊本県熊本市中央区 096-364-8500	∑大江本町2-5				
設置者名		設立認	可年月日	代表	表者名		862-0976	所在地				
学校法人未来創:	造学園	平成22	年3月2日	理事長	吉山昌利	(住所)	熊本県熊本市中央区	【九品寺2丁目2-38				
分野		認定課程名		認定学科	名		096-362-5656 引士認定年度	高度専門士認定	年度	職業実践専	践専門課程認定年度	
文化・教養		上教養専門課程	グ	ラフィックデザイン	/科広告デザ		7(1995)年度	_			3(2016)年度	
7112 3/12	,,,,	27720 17 710112		イン専攻コー	<b>-</b> ス							
学科の目的	グラフィックデザイン業界、出版業界で必須とされる造形、色彩、グラフィックソフト等について学修し、ユーザーのニーズ! る人材を育成することを目的とする。								的確なイラ	ラスト表現やラ	デザイン制作ができ	
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	文部科学	省後援 色彩検定	が取得可	能。								
修業年限	昼夜	全課程の修了	こ必要な終 単位数	総授業時数又は総 【	講	轰	演習	実習	実際	験	実技	
2	RB	※単位時間、単位	<b>\</b> ずれ	1,920 単位時間	90	単位時間	1,830 単位時間	0 単位時間	0 1	単位時間	0 単位時間	
<b>2</b> 年	昼間	かに記入		単位		単位	単位	単位	ì	単位	単位	
生徒総定員	生徒	実員(A) 冒	学生数例	生徒実員の内数)(B)	留学生割·	合(B/A)	中退率					
140 人	117			0 人	0	%	7 %					
140 %	■卒業者	数(C)	:	19	l	人	,					
	■就職希 ■就職者	·望者数(D)	- :	19 19		<u> </u>						
	■地元勍	職者数(F)	•	17		<del></del>						
	■就職率	(E/D) に占める地元記	職者の割・	100 合 (F/F)		%						
				89		%						
	■卒業者	に占める就職者	の割合(E	:/C) 100		%						
就職等の状況	■進学者			0		人						
770-150 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	■その他											
	(令和		卒業者に	関する令和7年5月	11日時点の情	報)						
		職先、業界等										
	(令和6年度)		事務所.	印刷会社、Webプ	ロダクション							
			事務所、	印刷会社、Webプ	゚ロダクション							
	広告制作 ■民間の	会社、デザイン評価機関等か	5第三者記	評価:	゚ロダクション		無					
第三者による	広告制作 ■民間の	会社、デザイン	5第三者記	評価:	ロダクション			r/4.8. à 18.45. ì				
第三者による 学校評価	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザイン評価機関等か	5第三者記	評価:	<b>ロダクション</b> 受審年月:		評価	…結果を掲載した −ムページURL				
学校評価	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザイン 評価機関等か な、例えば以下にない	5第三者記	評価:			評価					
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザイン 評価機関等か な、例えば以下にない	ら第三者 いて任意	評価 : 記載			評価					
学校評価  当該学科の	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザイン評価機関等から、例えば以下にデ	ら第三者 いて任意	評価 : 記載			評価					
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン評価機関等から、例えば以下にデ	う第三者 いて任意 design.ac	評価 : 記載			評価					
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	:会社、デザイン 評価機関等か 会、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto	う第三者 いて任意 design.ac	評価 : 記載			評価		1, 920 1	単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か h、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数	お の の の の の の の の の の の の の	評価 : 記載	受審年月:	業時数	評価			単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か h、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 うち	が第三者 いて任意 design.ac E)	評価: 記載 ::jp	受審年月: <b>習・実技の授</b>	業時数	評価		į			
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か à、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 うさ うち	の第三者書 いて任意書 design.ac 企業等と 必修授業	評価: 記載 シ.jp 連携した実験・実 連携した演習の授 時数	受審年月: 習・実技の授 業時数		評価水一		45 !	単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か à、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 うさ うち	の第三者書 いて任意書 design.ac 企業等と 必修授業	評価: 記載 シ.jp 連携した実験・実 連携した演習の授 時数	受審年月: 習・実技の授 業時数		評価水一		45 <u>1</u> 45 <u>1</u>	単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か à、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 うさ うち	の第三者書 いて任意記 design.ac を を 全業等と 必修授業	評価: 記載 :.jp 連携した実験・実 連携した演習の授	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験	・実習・実技	評価水一		45 <u>1</u> 45 <u>1</u>	単位時間単位時間単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か s、例えば以下に 評価団体:  www.kumamoto  立時間による算 総授業時数  うき  うき	の第三者 の第三者 のいて任意 design.ac 企業等と 企業等と の企業等と の企業等と	評価: 記載 :.jp 連携した実験・実 連携した演習の授 時数 ち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習(	・実習・実技 の授業時数	評価水一		45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 45 <u>1</u>	単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL  企業等とと連携した決 実習等の実施状況	広告制作 ■民間の場合 ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か s、例えば以下に 評価団体:  www.kumamoto  立時間による算 総授業時数  うき  うき	の第三者 の第三者 のいて任意 design.ac 企業等と 企業等と の企業等と の企業等と	評価: 記載 :.jp 連携した実験・実 連携した演習の授 時数 ち企業等と連携した ち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習(	・実習・実技 の授業時数	評価水一		45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 45 <u>1</u>	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か s、例えば以下に 評価団体:  www.kumamoto  立時間による算 総授業時数  うき  うき	の第三者 の第三者 のいて任意 design.ac 企業等と 企業等と の企業等と の企業等と	評価: 記載 :.jp 連携した実験・実 連携した演習の授 時数 ち企業等と連携した ち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習(	・実習・実技 の授業時数	評価水一		45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 45 <u>1</u>	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL  企業等とと連携した決 実習等の実施状況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か s、例えば以下に 評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うき うき	の第三者 の第三者 のいて任意 design.ac 企業等と 企業等と の企業等と の企業等と	評価: 記載 :.jp 連携した実験・実 連携した演習の授 時数 ち企業等と連携した ち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習(	・実習・実技 の授業時数	評価水一		45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 45 <u>1</u>	単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か s、例えば以下に 評価団体:  www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う た う た の な な な な な な な な な な な な な な な な な な	の第三者 かいて任意 design.ac 企業等と 企業等と が修授業 うけ うな ち企業等	評価: 記載 :.jp 連携した実験・実 連携した演習の授 時数 ち企業等と連携した ち企業等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの	・実習・実技 の授業時数 授業時数)	評価水一		45 ± 45 ± 45 ± 45 ± 45 ± 45 ± 45 ± 45 ±	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か 、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うさ  うさ  変数による算定  総単位数  うち  うち	の第三者 かいて任意 design.ac 企業等と 企業等と 必修授業 うけ うな ち企業等と	評価: 記載 記載 記載 連携した実験・実 連携した演習の授 時数 ち企業等と連携した と連携したインタ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習( ーンシップの	・実習・実技 の授業時数 授業時数)	評価水一		45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 1 45 <u>1</u> 1 0 0 <u>1</u> 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か 、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うき うき  ジ数による算定  総単位数  うき うき	の第三者 かいて任意 design.ac 企業等と 企業等と 必修授業 うけ うな ち企業等と	評価: 記載  記載  記載  連携した実験・実 連携した演習の授 時数  ち企業等と連携した と連携したインタ  連携した実験・実	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習( ーンシップの	・実習・実技 の授業時数 授業時数)	評価水一		45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 45 <u>1</u> 0 <u>9</u>	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か 、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うき うき  ジ数による算定  総単位数  うき うき	の第三者書 のいて任意書 design.ac 企業等と の修授業 うけ うな ち企業等と 企業等と 必修授業 の企業等と の必修授業	評価: 記載  記載  記載  連携した実験・実 連携した演習の授 時数  ち企業等と連携した と連携したインタ  連携した実験・実	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの 習・実技の単	・実習・実打の授業時数 授業時数) 授業時数)	詳値ホー		45 1 45 1 45 1 45 1 1 0 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か 、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うき うき  ジ数による算定  総単位数  うき うき	の第三者書かいて任意書 design.ac 企業等と 企業等と 必修授業 うけ うた企業等と 企業等と	評価: 記載	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの 習・実技の単位数 た必修の実験	・実習・実技 の授業時数 授業時数) 位数 ・実習・実技	詳値ホー		45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単位時間 単単位時間 単単位 世位 単位 世位 単位 世位 単単位 世位 単位 世位		
学校評価 当該学科のホームページ URL  企業等をと連携しした況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か 、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うた。  うた  うた  うた  うた  うた  うた  うた  うた  う	の第三者 のいて任意 design.ac 企業等と 企業等と が修授業 うけ うな ち企業等と 企業等と 必修授業 を企業等と 必修授業 のがである。	評価: 記載	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの 習・実技の単位数 た必修の実験 た必修の実験	・実習・実技の授業時数 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実技	詳値ホー		45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単位 中華 単単 単単 単単 単単 単単 単単 単単 位 位 中時間 目 単単 位 位 世 位 位 世 位 位 世 位 世 位 世 位 世 位 世 位		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か 、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うた。  うた  うた  うた  うた  うた  うた  うた  うた  う	の第三者 のいて任意 design.ac 企業等と 企業等と が修授業 うけ うな ち企業等と 企業等と 必修授業 を企業等と 必修授業 のがである。	評価: 記載	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの 習・実技の単位数 た必修の実験 た必修の実験	・実習・実技の授業時数 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実技	詳値ホー		45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単位 単単単単単単単単単単単単単単単単位 位位 中時間 目 単単位 位位 中時間 目 単単位 位位 中位 位位 中位		
学校評価 当該学科のホームページ URL  企業等をと連携しした況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等か 、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うた。  うた  うた  うた  うた  うた  うた  うた  うた  う	の第三者 のいて任意 design.ac 企業等と 企業等と が修授業 うけ うな ち企業等と 企業等と 必修授業 を企業等と 必修授業 のがである。	評価: 記載	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習 ーンシップの 習・実技の単位数 た必修の実験 た必修の実験	・実習・実技の授業時数 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実技	詳値ホー		45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単位 単単単単単単単単単単単単単単単単位 位位 中時間 目 単単位 位位 中時間 目 単単位 位位 中位 位位 中位		
学校評価 当該学科のホームページ URL  企業等をと連携しした況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン  評価機関等か か、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う す っ な な な な な な な な な な な な な な な な な な	の第三者言語 design.acc 定)  企業等とと うす。 方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価: 記載 記載 記載 記載 記載 連携した実験・実 連携した演習の授 時数・業等と連携した 方企業等と連携した とと連携した方の単 数 ち企業等と連携した ち企業等と連携した ち企業等と連携した ちと連携したインタ	晋・実技の授業時数 た必修の実験 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の実験である。 である。	・実習・実技の授業時数 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実技	詳値ホー		45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単位 単単単単単単単単単単単単単単単単位 位位 中時間 目 単単位 位位 中時間 目 単単位 位位 中位 位位 中位		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン  評価機関等か	の第三者言語 design.ac  企業等と ううう方 な企業等と 企業等と 企業等と 企業等と 企業等と 企業等と 企業等と 企業等と	評価: 記載	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験である。 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の演習の と必修の演習の では、 に該 をないまする。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 単位数)	詳値ホー	-AベージURL	45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単位 中間 単単 単単 単単 単単 単単 位 単単 単 位 世 単 単 位 世 単 世 位 世 単 世 位 世 単 世 位		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン  評価機関等か	constant design ac desig	評価: 記載  連携した実験・実連携した実験・実連携した演習の授  ち企業等と連携した  を企業等と連携した  を連携した演習の単  を企業等と連携した  を連携した方の単  を企業等と連携した  を企業等と連携した  を企業等と連携した  を企業等と連携した  をと連携したインタ	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験である。 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の演習の と必修の演習の では、 に該 をないまする。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 単位数)	詳値 ホー	-AベージURL	1 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単位 中間 単単 単単 単単 単単 単単 位 単単 単 位 世 単 単 位 世 単 世 位 世 単 世 位 世 単 世 位		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等から、例えば以下に対している。 評価では、  がはなりでは、  がは、  がは、  がは、  がは、  がは、  がは、  がは、	の第三者意記 design.acc を 企業等接受 う う 等 を 企業等等 を ない を の を の を の を の を の を の を の を の を の を	評価: 記載 記載 記 説 連携した実験・実 一要 連携した実験・要 一要 持した実験・の 要 きな企業等と連携した と連携した大変 習の を企業等とは、 で を企業等とをで は した実験・変 を を変 を を を を を を を を を を を を を を を を	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験である。 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の演習の と必修の演習の では、 に該 をないまする。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 (専修学科	評価 ホー なの授業時数 なの単位数 交設置基準第41条第1項	第1号)	1 45 £ 45 £ 45 £ 45 £ 45 £ 45 £ 45 £ £ 45 £ £ 45 £ £ 45 £ £ £ £	単位 中華 単単 単単 単単 単単 単単 単単 単単 単 単 単 単 単 単 単 単		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン  評価機関等かた、例えば以下にで  評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うち  うち  で  で  の  の  の  は  の  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で	の第三者言言 design.acc を 業 等 接 要 等 き と と 業 う う う 等 等 単 位 ・	評価: 記載 記載 記載 連携した実験・実 連携した実験・実 連携した演習の授 時数業等と連携した を企業等と連携した と連携した大変 の単 数 な企業等と連携した 変数 な企業等と連携した を企業等と連携した とき連携した方である。 を変異を表した。 を変まを表した。	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験である。 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の演習の と必修の演習の では、 に該 をないまする。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 位数 ・実習・実打 の単位数) (専修学科	評価 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	- ムベージURL 第1号) 第2号)	1 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位 (人人人		
学校評価 当該学科のホームのでは、 URL と実習等の実施がれた。 に記入) を関係した況か に記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン  評価機関等か から、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto 立時間による 算 総 総 を 数 す す す な な な な な な な な な な な な な な な な	の第三者言語 design.acc を 業 等接接 業 ううう まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな 専教限なる を 前等経験なる を 前等経験なる を おまない まない まない まない まない まない まない まない まない まない	評価: 記載  連携した実験・実連携した実験・実連携した演習の授助な業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した方のである。  連携した演習のの受動をできる。 を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した をを変える。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 をおりる。 をおりる	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験である。 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の演習の と必修の演習の では、 に該 をないまする。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 ・実習・実打 の単位数) (専修学材 (専修学材	詳値 ホー なの授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) (第3号)	1 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単		
学校評価 当該学科のボームページ URL を業等等と連携施ずれた況か に記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン  評価機関等かた、例えば以下にで  評価団体:  www.kumamoto  立時間による算  総授業時数  うち  うち  で  で  の  の  の  は  の  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で	の第三者言語 design.acc を 業 等接接 業 ううう まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな 専教限なる を 前等経験なる を 前等経験なる を おまない まない まない まない まない まない まない まない まない まない	評価: 記載  連携した実験・実連携した実験・実連携した演習の授助な業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した方のである。  連携した演習のの受動をできる。 を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した をを変える。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 をおりる。 をおりる	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験である。 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の演習の と必修の演習の では、 に該 をないまする。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 ・実習・実打 の単位数) (専修学材 (専修学材	評価 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) (第3号)	1 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単		
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施でする。 とと変響等のいた況か に記入) を教員してついて記	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン  評価機関等か から、例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto 立時間による 算 総 総 を 数 す す す な な な な な な な な な な な な な な な な	の第三者言語 design.acc を 業 等接接 業 ううう まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな 専教限なる を 前等経験なる を 前等経験なる を おまない まない まない まない まない まない まない まない まない まない	評価: 記載  連携した実験・実連携した実験・実連携した演習の授助な業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した方のである。  連携した演習のの受動をできる。 を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した をを変える。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 をおりる。 をおりる	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験である。 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の演習の と必修の演習の では、 に該 をないまする。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科	詳値 ホー なの授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第3号)	1 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位 中時間   単単位   単単位   単単位   単単位   単単位   単単位   単単位   単単位   単単位		
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施化かした況かんに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン  評価機関等から、例えば以下に  評価団体:	の第三者言語 design.acc を 業 等接接 業 ううう まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな 専教限なる を 前等経験なる を 前等経験なる を おまない まない まない まない まない まない まない まない まない まない	評価: 記載  連携した実験・実連携した実験・実連携した演習の授助な業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した方のである。  連携した演習のの受動をできる。 を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した をを変える。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 をおりる。 をおりる	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験である。 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の演習の と必修の演習の では、 に該 をないまする。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科	詳値 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第3号)	1 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位		
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施・では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン  評価機関等かた。例えば以下に  評価団体:  www.kumamoto- 立	の第三者言語 design.acc を 業 等接接 業 ううう まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな企 業 等等単位・ まな 専教限なる を 前等経験なる を 前等経験なる を おまない まない まない まない まない まない まない まない まない まない	評価: 記載  連携した実験・実連携した実験・実連携した演習の授助な業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した方のである。  連携した演習のの受動をできる。 を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した を企業等と連携した をを変える。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 を必ずる。 をおりる。 をおりる	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修の実験である。 た必修の演習の 一ンシップの 習・実技の単位数 た必修の演習の と必修の演習の では、 に該 をないまする。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科	詳値 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第3号)	1 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位		
学校評価 当該学科のホームの はいていて、 はいないでは、 はいないでは、 はいないでは、 はいないでは、 はいないでは、 はいないでは、 なり負していていている。 なり負していている。 なり負していている。 なりものには、 なりまれば、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザイン 評価機関等かか。	converted and a series of the conv	評価: 記載 記載 記述 記述 記述 連進携した実験・実授 時数 ち企業等と連携した な企業等と連携した と連携した大演 で表 を連携した を連携した を連携した を連携した を実験 の単 を主連携した を変 を実 を表	受審年月:  習・実技の授業時数 た必修のの演習・大変をある。 では、とをできます。 では、とをできます。 では、とをできます。 では、とをできます。 では、とをできます。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・実習・実計 の授業時数) 位数 ・実習・実計 位数 ・実習・実計 の単位数 ・実習・変形 単位数 ・実際	詳値 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第3号) 第5号)	1 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45 4 45	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単		

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行って いること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界における人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、必要な実務に関する知識や技能などを十分に把握・分析したうえで、 当該専門課程の教育を施すためにふさわしいと考えられる授業科目の開設や、授業内容・方法の改善・工夫を行い、企業の要請を十分に活 かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に行うために、教育課程編成委員会を設置する。

### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会委員は学校法人未来創造学園職員及び企業・団体役職者等の外部委員からなるものとし、互いの視点からの意見を

積極的に交換・活用し、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置付ける。 教育課程編成委員会は、各学科から示されたカリキュラム等の内容や実施状況について、業界において必要となる技術や知識を有する人 材を育てる観点から十分な審議を行い、教育課程の編成や内容についての具体的な方策を講じ、意見表明を行う。その後、各学科において 当該意見を反映した授業実施案を作成し、次回の教育課程編成委員会にて報告・審議・承認を受けたのち、学校長決裁を経て次年度教育 課程が決定される。

### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
川口 滋	くまもとデザイン協議会会長/有限会社ダーク会長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
古家 達也	株式会社フィールドワークス 代表取締役社長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
内藤謙一	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 学校長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児玉 守	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務部長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
高峯 英幸	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児玉 竜也	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
宮﨑 和子	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

### (開催日時(実績))

第1回 令和6年9月2日 11:00~12:00

第2回 令和7年3月21日 11:00~12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

## 第1回

- ・知的財産学は、1年次中期にて授業実施。権利の話とデザインを取り巻く業界の状況を時系列で説明しながら学習させる
- ・2年生は引き続き積極的に企業課題を取り組んでいく。

### 第2回

- ・知的財産学で権利について自分の描いたイラストの著作権やバイト先の店名に関する権利を例に学習させる
- ・2年次中期の授業において企業と共同で紙の販促物の提案として熊本らしいペーパーツール制作に取り組む
- ・次年度、産学連携の企業案件を進めるにあたって契約書をもとに今後、産学連携を取り組む。また、それについて学生に契約について周知 し学習させる。

### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

#### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを、関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立てて実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

教育課程編成委員会等において出された意見を基に、事前に職業教育協定書により協定を締結した企業側講師と担当教員による綿密な打ち合わせを行い、授業内容や学修成果の評価方法を決定する。また、演習期間中は随時情報交換を行うことで、学修効果の向上を図るとともに、演習終了後には、企業側講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

ſ	科目名	企業連携の	科 目 概 要	連携企業等
	知的財産学	業等からの 講師が全て	本演習はデザイン業界はもとより社会的に重要とされている著作権意匠権、商標権などの知的財産に関わる基礎的知識や活用方法を履修し、自らが制作した著作物やクライアントから依頼された制作物をビジネス上、管理を円滑に行うための基礎知識を履修する。また、自らが創作した著作物や創作物を模倣された場合の対処方法についても検討を行っていく。	株式会社フィールドワークス

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「学校法人未来創造学園熊本デザイン専門学校教職員研修規程」に基づき、専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを、 関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立てて実施する。また、学級運営力の向上や教育法 の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が 開催する学外研修が考えられる。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: Adobe FireflyとAdobe Expressの生成AI機能 連携企業等: 加賀ソルネット

期間: 令和6年9月18日 15時~16時 対象: 専門学校教職員等

内容 [1]学校で役立つ動画活用の事例[2]Adobe Expressの動画作成機能の紹介[3]Adobe Firefly(画像生成AI)との連携[4]実

習: ExpressとFireflyで動画を制作する

研修名: 第32回広告セミナー 連携企業等: 熊本広告業協会

期間: 令和6年9月26日(木) 15時00分~16時30分 対象: 専門学校教職員等

内容
地域の未来を拓くクリエーティブ~ローカル×ソーシャルの実験的アプローチ。

研修名: Adobe公式デジタルクリエイティブ基礎講座 連携企業等: 加賀ソルネット

期間: 令和6年6月12日(水)15時~16時 対象: 専門学校教職員等

内容 最新のwebクリエイティブ・ツールの概要と使用するための基礎講座

②指導力の修得・向上のための研修等

略とは

研修名: 最新生成AIトレンドについて 連携企業等:未来創造学園

期間: 令和6年7月31日(水)14時15分~16時 対象:企業・学校関係者等

内容 AI導入の成功事例、AI活用による地域戦略、人材育成の新しい方法論

研修名: 発達障害のある生徒への具体的な支援/合理的配慮 連携企業等: 熊本市発達陣がい者支援センターみなわ

期間: 令和6年8月4日(木)10時~12時 対象: 学校関係者等

内容 合理的配慮の基本、現場で悩みがちなケースの共有、支援や環境調整等についての考え方

研修名: 大学志向が高まる中での専門学校における学生募集戦 連携企業等:株式会社進研アド

期間: 令和6年9月24日(火)16時~17時 対象: 専門学校教職員等

内容 高等教育機関[大学・専門学校]の最新動向、高校現場における進路研究の最新動向

(3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 第33回「広告セミナー」 連携企業等: 熊本広告業協会

期間: 令和7年9月19日(金) 15時00分~16時30分 対象: 専門学校教職員等

内容 いまこそ私たちのパーパスを考える。 講師: 福永琢磨 氏

研修名: 第9弾!Fire Fly ウェブセミナー 連携企業等: 加賀ソルネット

期間: 令和7年6月25日(水)15:00~16:00 対象: 専門学校教職員等

内容 教育現場でも大活躍間違いなしのAI動画最新機能を紹介!

研修名: 生成AIの正しい使い方とは?学生と教育現場を守るた 連携企業等: 加賀ソルネット めの倫理とルール!

期間: 令和7年2月19日(水)15:00~16:00 対象: 専門学校教職員等

内容 生成AIの基礎知識はもちろん、教育現場で安心して活用するための具体的なポイント。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 専門学校における発達障害支援とは? 連携企業等: 筑波大学ダボットプロジェクト

期間: 令和7年1月16日(火)17時~19時 対象: 一般・学校教職員等

内容 専門学校における発達障害支援をテーマとし、知見、学生支援の実態、支援ツールの活用について

未来の専修学校をつくる~教員研修と卒業生調査のヒ 研修名: ント~ 連携企業等:株式会社三菱総合研究所

期間: 令和7年2月18日(火)16時~18時 対象: 専門学校教職員等

内容 教職員とともに成長する学校づくり、教職員への支援のあり方、卒業生調査の活用など

教育目標の達成に向けた『入学前』からの指導体制づく 連携企業等:株式会社進研アド

期間: 令和7年8月26日(火)15時~16時 対象: 学校関係者等

内容 近年の大学・短大・専門学校進学者の学力や学習習慣、進学意識について分析

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は教職員で実施した自己評価を、企業・高等学校・保護者・卒業生等の学校関係者それぞれの視点から意見を伺い、お互 いの理解を深めるためのものとする。また、その評価の過程において、自己評価の妥当性を検証するとともに、客観性・透明性をより高め、 公共性の高い社会に寄与する学校を目指すことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

### ※(10)及び(11)については任意記載。

## (3)学校関係者評価結果の活用状況

学生支援については概ね良い評価を受けた。学生対応は主に担任が窓口となり、当事者から十分にヒアリングし、本人の意思を確認して対応している。内容に応じて他分掌とも連絡を密にするよう注力しており、今までのとこと大きな問題となることはなく機能している。 教育の内部質保証については、職業実践専門課程の認定に伴い順次対応を行っている。今後、情報管理システムを導入し、一元管理を行うとともに、管理体制を階層化し、責任の所在を明確にして管理を徹底していきたい。

### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
有田 滿里子	有限会社有田 代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
島村 徹	一般社団法人熊本県建築士事務所協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
田中 千秋	株式会社放送技研 代表取締役	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
古家 達也	株式会社フィールドワークス 代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
甲斐 広美	在校生保護者	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	保護者委員
内村 友造	同窓会会長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	卒業生委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

URI :

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・ 報誌等の刊行物・ その他(

https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing 令和7年7月1日

公表時期: 令和7年7月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者と連携・協力を通じて、健全な学校運営と教職員の資質向上に取り組んでいくことを目的とするため、教育活動等の学校運営状況に関する情報を提供することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校案内」に掲載
(2)各学科等の教育	ホームページ「学科紹介」に掲載
(3)教職員	ホームページ「教員・職員紹介」に掲載
	ホームページ「就職支援」に掲載
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校生活」に掲載
(6)学生の生活支援	ホームページ「学校生活」に掲載
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「入学案内」及び募集要項に掲載
(8)学校の財務	ホームページ「財務情報」に掲載
(9)学校評価	ホームページ「学校関係者評価結果」に掲載
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing

公表時期: 令和7年7月1日

# 授業科目等の概要

	()	文化	教養	専門課程 グラ	ラフィックデザイン科広告デザイン専攻コー?	ス)										
		分類	Į						授	業プ	方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	位	<b>攜</b>	演習	実験・実習・実技			専任		企業等との連携
1	0			社会研究 I	企業及び職種・業種の研究を行い就職への 動機付けを行う。履歴書の書き方やアポイ ントメントの取り方、挨拶の仕方など就職 活動に必要なコミュニケーション方法を身 につける。また一人一人と就職についての 面接、相談を行い丁寧に就職活動を支援し ていく。	1 後	15	0	0			0		0		
2	0				広告代理店で広告やCMのディレクションに携わった教員が発想法を指導する。授業を通じて「デザイン発想力の向上」「自分が進むべきデザインの方向性発見」のきっかけになるようなクリエーティブ作品やエピソードを各方面から多数紹介。	1 前	15	0	0			0		0		
3	0				様々な広告サンプルや事例を通じて広告媒体の展開方法を学ぶ。また、広告業界で使用されている専門用語を各ジャンルの事例 や資料を通じて深く理解する。	1	15	0	0			0		0		
4	0			ビジュアル研 究 I	現代グラフィックデザインの基礎的な用語、歴史、思想、運動、デザインスタイル、時代を代表する作者とその作品の知識を修得する。また過去の歴史が現在のグラフィックデザインに活用されている事例を学ぶことからデザインスタイルの応用力の理解を深める。	1 通	90	0		0		0		0		
5	0				接遇指導の実績のある教員が、社会人としての基礎力を指導する。第一印象から身だしなみ、正しい言葉遣いから、「話す」「聞く」等の表現を実践的に身に付け、公的な場面での好感の持てるマナーやコミュニケーション力を習得する。	1 後	30	0	0			0			0	

6	0		ビジネス概論	経営コンサルタントの実務経験のある教員が利益、集客、価格、などビジネスの仕組みを、各業界別の事例をもとに指導する。ビジネスの構造、流通の仕組み、利益構造の基礎的な知識を修得する。	0	0	
7	0			多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、各専門分野の講師陣からオムニバス 1 形式により具体的実例を専門家の考え方や 前手法を理解する。	0	0	
8	0		ドローイング	形のとり方、構図、バランス、質感の観察力と表現力を養う。モノを創る基本となる見る力・描く力を養い、観察力・表現力を高めていく。形を正確に捉えることから始まり、明暗・立体感・質感の表現へとつなげる。また細密描写や様々な画材による表現テクニックも学習する。	0	0	
9	0			色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。	0	0	
10	0		タイポグラ フィ	広告代理店の制作部でグラフィックデザインを担当した教員がレタリング技能検定の指導する。また検定後は、文字のデザインの基礎からロゴタイプのデザインのバリエーション展開の演習を行う。	0	0	
11	0		広告デザイン I	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、広告デザインの媒体別基礎知識と企画書の作成とともに市場調査分析、ポジショニング、消費者リストアップ、ターゲットの設定、コンセプトメーキングからカンプの表現手法までを指導する。	)	0	

12	0		社会人基礎	どんな仕事(職種)であれ、それを行っていく上で必要とされるカ=社会人基礎力を磨く。社会の出来事を知る→その背景を考える→考えたことを他人に伝える(知る→考える→伝える)という流れを重視し、実社会にそのままつながる学びの場とする。	)		0	
13	0		DTP基礎	Macintosh を 用 い て Illustrator 、 Photoshop、InDesignの基本的操作と技術を 修得する。雑誌の誌面、チラシ、パンフレットのデザイン制作を通して、文字の優 先順位や可読性を理解し、素材のレイアウト、配色計画、デザインの素材制作の技術を、校正を繰り返しながら習熟する。	)	0		
14	0		ホームページ 基礎	印刷会社の制作部でWebデザインを担当した 教員が、その経験を生かしてHTMLマーク アップによるインターネット上での情報発 信技術とスタイルシート・コーディングに よるウェブデザインの技法を指導する。	)	0		
15	0		写真基礎	写真スタジオで広告写真に携わった経験を 持つ教員が、カメラの扱い方から写真の基 礎知識・技術の指導を行う。	)		0	
16	0		造形演習	立方体を同一の型とし、異なる素材による 質感、量感、立体感。存在感の違いを考察 し、美意識の理論的思考を養う。同時に手 仕事による職人的技術を修得し、仕上げ技 術が美に影響する重要性を実技を理解す る。	)	0		
17	0		知的財産学	弁理士として知的財産業務に携わった経験を持つ教員が、知的財産の基礎知識と活用 1 方法、対処方法について、様々な具体的事 後 15 〇 △ 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	)		0	0

18	0	修了制作	広告の実務経験がある教員が、地域活性化と社会貢献を目標に自らテーマを求め、グラフィックデザインによる解決策を指導する。問題を提起し、解決策の企画立案から調査分析、デザイン制作、プレゼンテーションまでの広告の一連の流れを修得する。	
19	0	· ·	広告代理店においてクリエイティブディレクターとして広告の企画からマネージメントまでを担当した実務経験のある教員が、マーケティングからターゲットの分析、設定、チャート作成、企画書作成、プレゼンテーションまでの一連の流れを指導する。	0
20	0	ビジュアル研 究Ⅱ	業界講話や活躍されているデザイナーを紹介し、自身の就職活動について意欲的に考える姿勢を身に付ける。グループワークも交えデザインの考え方を深め言葉で表現する力を養う。そして、その考察したものから意味のあるアウトプットを目指す。	
21	0	DTP演習	Illustrator、Photoshop、InDesignの基本 的操作と技術を修得する。雑誌の誌面、チ ラシ、パンフレットのデザイン制作を通し て、文字の優先順位や可読性を理解し、素 材のレイアウト、配色計画、デザインの素 材制作の技術を、校正を繰り返しながら習 熟する。	
22	0	ホームページ デザイン	印刷会社の制作部でWebデザインを担当し制作した経験のある教員がその経験を生かして、HTMLマークアップによる情報の階層化をすることでプログラミングへの検索エンジン最適化をさせ、CSSコーディングによるウェブデザインのトレンドを踏襲しUI、UXを最適化することを指導する。	0
23	0	CIデザイン	ブランディングデザインの基本的な考え方であるCIデザインのプロセスを学習。演習課題や産学連携課題に取り組むことで社会におけるブランディングの位置づけや重要性を理解する。	

24	0		広告デザイン	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、交通広告、テレビ 2 CM、地域活性化のためのポスター制作を指導する。	
25	0			Web制作業務に携わった経験を持つ教員がその経験を生かしてWebフレームワークに関する技術を指導する。	
26	0		レジシュ沖羽	Word、Excelの基本操作を習得し、それぞれの特徴を活かした処理方法を学習する。 2 Word・Excel 及びCanvaを利用した実務における応用方法を学習する。	
27	0		モーショングラフィックス	グラフィックデザインの知識を活かし、その技術を映像の世界に拡張するための基礎知識を学びます。ポスターの静止画のオブジェクトが動き、サウンドとのシンクロによって表現されるモーショングラフィックを体験し、映像はグラフィックの延長線上にある技術である事を学びます。	
28	0		卒業制作	卒業制作は各自が自由に設定したテーマに 対し、これまで習得してきたグラフィック デザイン領域に関する専門的な知識や、技 術、感性、表現などを使い、これからの社 会への問題提起・解決に向けての提案を 行っていく。	
29		0	Webデザイン	印刷会社の制作部でWebデザインを担当した 経験のある教員がその経験を生かしてPHPフレームワークのWordPressを使用し、ウェブサイトを実制作しながらSEO、ウェブデザイン、コーディング(HTML、CSS、PHP)を指導する。	

S1   O   広告演習   広告代理店で広告デザインを担当した教員   2   90   O   O   O   O   O   O   O   O   O	30	0	コーディング <sup>注羽</sup>	Webデザイン制作会社でWebデザイナーとして勤務実績のある教員が指導にあたる。スマートフォンに特化したデザインを制御・構築するためのJavaScript (jQueryライブラリ)の理解を深める演習を行う。	2 译	90	0	0		0	0	
合計   1920 単位(単位時間)	31	0	広告演習	が、基礎的な広告の概論から、最新の広告 のトレンドを踏まえたクリエイティブワー クを指導する。	2 通		0	0	1000	)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	<u>r</u>
・出席率が80%以上であること ・当該年次の科目全てに合格すること ・卒業制作または卒業研究に合格すること ・当該年次の授業料等諸経費が完納されていること	1 学年の学期区分	2 期
<b>屋修方法:</b> 学則に定める教育課程に基づき授業科目を履修し、学修の評価により科目を修得する。	1 学期の授業期間	15 週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名							=					
熊本デザイン専門	門学校	平成	戊5年12月2	24日	校長「	内藤謙一	〒 (住所)	862-0973 熊本県熊本市中央区	☑大江本町2-5			
設置者名		設立	立認可年月	日	代表	養者名	(電話)	096-364-8500	所在地			
学校法人未来創	造学園	平月	成22年3月	2日	理事長	吉山昌利		862-0976 熊本県熊本市中央区	☑九品寺2丁目2-38			
分野		認定課程名	定課程名		認定学科	名		096-362-5656 門士認定年度	高度専門士認定	生年度	職業実践専	<b>厚門課程認定年度</b>
文化・教養			数義専門理程 グラフィ			科アートディ		え7(1995)年度	-			8(2016)年度
学科の目的		クデザイン業 育成すること		L 業界で必須と			ノイックソフト	等について学修し、ユ-	ーザーのニーズに対し <sup>-</sup>	て的確なイ	 'ラスト表現や <del>'</del>	デザイン制作ができ
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	文部科学	省後援 色彩	/検定が取得	得可能。								
修業年限	昼夜	全課程の何		な総授業時 立数	特数又は総	講義	į.	演習	実習	実	験	実技
2	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ		単位時間		単位時間	1,830 単位時間	0 単位時間	0	単位時間	0 単位時間
生徒総定員	生45	実員(A)		数(生徒実員の	単位	留学生割食	単位 <b>〇</b> (D/A)	中退率	単位		単位	単位
			田子工									
140 人	117 ■卒業者		<u> </u>	0	人 6	0	7.	7 %				
	■就職希	望者数 (D)	) :		6		Ž.					
	■就職者 ■地元就	i数 (E) t職者数 (F)	:		6		<u> </u>					
	■就職率	또 (E/D)			100		%					
	■就職者	た占める地	元就職者の	D割合(F/E	E) 100		%					
	■卒業者	に占める就	職者の割合	(E/C)								
	■進学者	类			100		%					
就職等の状況	■延子年	!			<u> </u>		^					
	(令和	1 6	年度卒業者	fに関する令	<sup>3</sup> 和 <b>7</b> 年5月	1日時点の情	報)					
	■主な就	職先、業界	等									
	(令和6年月											
			デイン事務所	所、印刷会	社、Webプロ	コダクション						
	広告制作	会社、デザ			社、Webプロ	コダクション		<b>#</b>				
第三者による	広告制作 ■民間の		等から第三	者評価:	社、Webプロ	コダクション		無				
第三者による 学校評価	広告制作 ■民間の	会社、デザション・ション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	等から第三	者評価:	社、WebプI			評	<b>西結果を掲載した</b>			
	広告制作 ■民間の	会社、デザ	等から第三	者評価:	社、Webプロ	<b>コダクション</b> 受審年月:		評	面結果を掲載した ームページURL			
学校評価 当該学科の	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザ 評価機関等 会、例えば以下 評価団体:	等から第三下について任	E者評価: E意記載	社、WebプI			評				
学校評価 当該学科の	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザション・ション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	等から第三下について任	E者評価: E意記載	社、Webプロ			評				
学校評価 当該学科のホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 含、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 下について仕 noto-design	E者評価: E意記載	社、Webプロ			評				
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 下について仕 noto-design る算定)	E者評価: E意記載	社、Webプロ			評		1 920	<b>)</b> 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 含、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 FICOLUTED TO THE TO TH	E者評価: H意記載 n.ac.jp		受審年月:	<b>业</b> 0 土 米 h	評		1, 920	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 下についてd noto-design る算定) 数	:者評価 : H意記載 n.ac.jp	た実験・実	受審年月: 習・実技の授:	業時数	評			単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 FICOLVで日 noto-design る算定) な うち企業等 うち企業等	E者評価: E意記載 n.ac.jp 序と連携しt		受審年月: 習・実技の授:	業時数	評		45	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 下についてd noto-design る算定) 数	者評価: 意記載 n.ac.jp 序と連携した 受業時数	た実験・実行	受審年月: 習・実技の授 業時数		評水、		45	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 FICOLVで日 noto-design る算定) な うち企業等 うち企業等	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	た実験・実活を表現である。 たまま たまま おまま たまま しょうしゅう たまま しょうしゅう おまま しょう はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい	受審年月: 習・実技の授業時数 = 必修の実験	・実習・実	評		45	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 FICOLVで任 noto-design る算定) な うち企業等 うち必修担	・ 者評価: ・	た実験・実行 た演習の授 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 必修の実験 必修の演習の	・実習・実	評水、		45 45	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 FICOLVで任 noto-design る算定) な うち企業等 うち必修担	・ 者評価: ・	た実験・実行 た演習の授 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 = 必修の実験	・実習・実	評水、		45 45	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携しした。	広告制作 ■民間の場合 ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以 評価団体: www.kumam	等から第三 FICOLVで任 noto-design る算定) な うち企業等 うち必修担	・ 者評価: ・	た実験・実行 た演習の授 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 必修の実験 必修の演習の	・実習・実	評水、		45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 は以 評価団体: www.kumam は時間による 総授業時委 位数による	等から第三下について任 noto-design る算定) な うち企業等 うち必修技	・ 者評価: ・	た実験・実行 た演習の授 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 必修の実験 必修の演習の	・実習・実	評水、		45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 計・例えば以 評価団体: www.kumam 位時間による 総授業時数	等から第三下について任 noto-design る算定) な うち企業等 うち必修技	・ 者評価: ・	た実験・実行 た演習の授 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 必修の実験 必修の演習の	・実習・実	評水、		45 45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況への表である。	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 は以 評価団体: www.kumam は時間による 総授業時委 位数による	等から第三下について任 noto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 うち企業等 (うち企ま	・ 者評価: ・	た実験・実行 た演習の授が 等と連携した したインター	受審年月: 習・実技の授業時数 必修の実験 必修の演習の	・実習・実 の授業時数 授業時数)	評水、		45 45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 は以 評価団体: www.kumam は時間による 総授業時委 位数による	等から第三下について任 noto-design る算定) 数 うち企業等 うち必修 (うち企ま 算定)	- 者評価: - 信意記載 n.ac.jp - 序と連携した - ラ表企業等 - うち企業等 - まちと連携した - まちを、まで、また。 - また。 - また。	た実験・実行 た演習の授が 等と連携した したインター	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 こ必修の演習の	・実習・実 の授業時数 授業時数)	評水、		45 45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 は以 評価団体: www.kumam は時間による 総授業時委 位数による	等から第三下について任 noto-design る算定) 数 うち企業等 うち必修 (うち企ま 算定)	- 者評価:	た実験・実行 た演習の授 等と連携した したインター た実験・実	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 こ必修の演習の	・実習・実 の授業時数 授業時数)	評水、		45 45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (名、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 は以 評価団体: www.kumam は時間による 総授業時委 位数による	等から第三下について付 noto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	・ 者評価: ・	た実験・実行を連携した大演習の授が	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 こ必修の演習の	・実習・実 ⑦授業時数) 授業時数) 位数	技の授業時数		45 45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 は以 評価団体: www.kumam は時間による 総授業時委 位数による	等から第三下について付 noto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	- 者評価:	た実験・実育 た演習の授 等と連携した したインター た実験・実 た演習の単化	受審年月:  望・実技の授業時数  二必修の実験・ 二必修の演習の 一ンシップの  響・実技の単・	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実	技の授業時数		45 45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況への表である。	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 は以 評価団体: www.kumam は時間による 総授業時委 位数による	等から第三下について任 noto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 算定) うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	*** *** *** *** *** *** *** *** *** **	た実験・実行 た演習の授 等と連携した したインター た実験・実 た演習の単 を連携した を実験・実 を実験・実 を実験・実	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験・ 心修の演習の ーンシップの  留・実技の単・ 立数	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数	技の授業時数		45 45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (名、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 は以 評価団体: www.kumam は時間による 総授業時委 位数による	等から第三下について任 noto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 算定) うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	*** *** *** *** *** *** *** *** *** **	た実験・実行 た演習の授 等と連携した したインター た実験・実 た演習の単 を連携した を実験・実 を実験・実 を実験・実	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 心をの演習の ーンシップの  留・実技の単す立数  必修の実験 必修の実験 必修の実験	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数	技の授業時数		45 45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況への表である。	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 は以 評価団体: www.kumam は時間による 総授業時委 位数による	等から第三下について任 noto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 算定) うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	*** *** *** *** *** *** *** *** *** **	た実験・実行 た演習の授 等と連携した したインター た実験・実 た演習の単 を連携した を実験・実 を実験・実 を実験・実	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 心をの演習の ーンシップの  留・実技の単す立数  必修の実験 必修の実験 必修の実験	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数	技の授業時数		45 45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	等から第三 (うち企業等 (うち企業等等 (うち企業等等) (うち企業等等) (うち企業等等) (うち企業等等) (うち企業等等) (うち企業等等) (うち企業等等)	・者評価: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た実験・実行 た演習の授 等と連携した したインター た実験・実 た演習の単 を連携した を実験・実 を実験・実 を実験・実	受審年月:  望・実技の授業時数  必修の実験・必修の演習の ーンシップの  望・実技の単・ 立数  必修の演習の ーンシップの に な数  の修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数)	技の授業時数	-A<-yURL	45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況への表である。	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 神仏の 神仏の 神仏の 神仏の 神仏の 神仏の 神仏の 神仏の	等からついてイロットでは、	・ 者評価: 本意記載 n.ac.jp	た実験・実活 た演習の授う 等と連携した と連携したインター た実験・実 た演習の単し を連携した た演習の単し になインター したインター したインター したインター したインター したインター したインター したインター	受審年月:  望・実技の授業時数  必修の実験・必修の演習の ーンシップの  望・実技の単・ 立数  必修の演習の ーンシップの に な数  の修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 万授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数) (専修学	技の授業時数	- ムページU R L	45 45 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等を実施状況 に記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 評価機関等 ・計算の関係: ・ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	等からいでは、 のなった。 のな。 のなった。 のなった。 のなった。 のなった。 のなった。 のなった。 のなった。 のなった。 のなった。 のな。 のな。 のな。 のな。 のな。 のな。 のな。 のな	者評価: ・ 者記載 n.ac.jp	た実験・実活 た演習の授う 等と連携した と連携したインター た実験・実 た演習の単し を連携した た演習の単し になインター したインター したインター したインター したインター したインター したインター したインター	受審年月:  望・実技の授業時数  必修の実験・必修の演習の ーンシップの  望・実技の単・ 立数  必修の演習の ーンシップの に な数  の修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数) (専修学	技の授業時数 技の授業時数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- ムページURL   第1号)   第2号)	45 45 45 22 2 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれいに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 神価機関等 神子 神子 神子 神子 神子 神子 神子 神子	等からのいて付金 ign で i	書書評価: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た実験・実行 た演習の授別 等と連携したた をと連携したた た実験習の単したインター た実験習の構したた をと連携したた で したそであた期 した者でした者でした者でした者でした。	受審年月:  望・実技の授業時数  必修の実験・必修の演習の ーンシップの  望・実技の単・ 立数  必修の演習の ーンシップの に な数  の修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- ムページURL (第1号) (第2号) (第3号)	45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 4	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携をした況か に記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 一個関係 はいい では できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり	等からついて行名を第二年では、「「「「「「「」」」を対するというでは、「「」」を必要を表している。 「「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」では、「	者評価: ・ 者記載 n.ac.jp	た実験・実行 た演習の授別 等と連携したた をと連携したた た実験習の単したインター た実験習の構したた をと連携したた で したそであた期 した者でした者でした者でした者でした。	受審年月:  望・実技の授業時数  必修の実験・必修の演習の ーンシップの  望・実技の単・ 立数  必修の演習の ーンシップの に な数  の修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数 (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- ムページURL 類第1号) 類第2号) 類第3号) (第4号)	45 45 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実施がよりに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー (	等からついて行名を第二年では、「「「「「「「」」」を対するというでは、「「」」を必要を表している。 「「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」では、「	書書評価: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た実験・実行 た演習の授別 等と連携したた をと連携したた た実験習の単したインター た実験習の構したた をと連携したた で したそであた期 した者でした者でした者でした者でした。	受審年月:  望・実技の授業時数  必修の実験・必修の演習の ーンシップの  望・実技の単・ 立数  必修の演習の ーンシップの に な数  の修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数 (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- ムページURL 類第1号) 類第2号) 類第3号) (第4号)	45 45 0 0 2 2 3 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上 単位 上 単位 上 単 上 上 上 上	
学校評価  当該学科のホームページ URL  企業等等の実施ずれいに記入)  企業の展開でいいでは、「中記	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー 一個関係 はいい では できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり	等からついて行名を第二年では、「「「「「「「」」」を対するというでは、「「」」を必要を表している。 「「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」では、「	書書評価: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た実験・実行 た演習の授別 等と連携したた をと連携したた た実験習の単したインター た実験習の構したた をと連携したた で したそであた期 した者でした者でした者でした者でした。	受審年月:  望・実技の授業時数  必修の実験・必修の演習の ーンシップの  望・実技の単・ 立数  必修の演習の ーンシップの に な数  の修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数 (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- ムページURL 類第1号) 類第2号) 類第3号) (第4号)	45 45 0 0 2 2 3 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価  当該学科のホームページ URL  企業等等の実施ずれいに記入)  企業の展開でいいでは、「中記	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザー (	等からついて行名を第二年では、「「「「「「「」」」を対するというでは、「「」」を必要を表している。 「「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」では、「	書書評価: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た実験・実行 た演習の授別 等と連携したた をと連携したた た実験習の単したインター た実験習の構したた をと連携したた で したそであた期 した者でした者でした者でした者でした。	受審年月:  望・実技の授業時数  必修の実験・必修の演習の ーンシップの  望・実技の単・ 立数  必修の演習の ーンシップの に な数  の修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数 (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- ムページURL 類第1号) 類第2号) 類第3号) (第4号)	45 45 0 0 2 2 3 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上 単位 上 単位 上 単 上 上 上 上	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界における人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、必要な実務に関する知識や技能などを十分に把握・分析したうえで、当該専門課程の教育を施すためにふさわしいと考えられる授業科目の開設や、授業内容・方法の改善・工夫を行い、企業の要請を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に行うために、教育課程編成委員会を設置する。

### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会委員は学校法人未来創造学園職員及び企業・団体役職者等の外部委員からなるものとし、互いの視点からの意見 を積極的に交換・活用し、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置付ける。

教育課程編成委員会は、各学科から示されたカリキュラム等の内容や実施状況について、業界において必要となる技術や知識を有する 人材を育てる観点から十分な審議を行い、教育課程の編成や内容についての具体的な方策を講じ、意見表明を行う。その後、各学科において当該意見を反映した授業実施案を作成し、次回の教育課程編成委員会にて報告・審議・承認を受けたのち、学校長決裁を経て次年度教育課程が決定される。

### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
川口 滋	くまもとデザイン協議会会長/有限会社ダーク会長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
古家 達也	株式会社フィールドワークス 代表取締役社長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
内藤謙一	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 学校長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児玉 守	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務部長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
高峯 英幸	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児玉 竜也	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
宮﨑 和子	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
  - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月2日 11:00~12:00 第2回 令和7年3月21日 11:00~12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

## 第1回

- ・・・知的財産学は、1年次中期にて授業実施。権利の話とデザインを取り巻く業界の状況を時系列で説明しながら学習させる
- ・2年生は引き続き積極的に企業課題を取り組んでいく。

### 年2回

- ・ ・知的財産学で権利について自分の描いたイラストの著作権やバイト先の店名に関する権利を例に学習させる
- ・2年次中期の授業において企業と共同で紙の販促物の提案として熊本らしいペーパーツール制作に取り組む
- ・次年度、産学連携の企業案件を進めるにあたって契約書をもとに今後、産学連携を取り組む。また、それについて学生に契約について 周知し学習させる。

### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを、関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう 研修計画を立てて実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する 企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

#### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

教育課程編成委員会等において出された意見を基に、事前に職業教育協定書により協定を締結した企業側講師と担当教員による綿密な 打ち合わせを行い、授業内容や学修成果の評価方法を決定する。また、演習期間中は随時情報交換を行うことで、学修効果の向上を図 るとともに、演習終了後には、企業側講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

Г	科目名	企業連携の方	科 目 概 要	連携企業等	ī
	知的財産学	宝(の授耒を土  田虫	本演習はデザイン業界はもとより社会的に重要とされている著作権,意匠権,商標権などの知的財産に関わる基礎的知識や活用方法を履修し,自らが制作した著作物やクライアントから依頼された制作物をビジネス上,管理を円滑に行うための基礎知識を履修する。また,自らが創作した著作物や創作物を模倣された場合の対処方法についても検討を行っていく。	株式会社フィールドワークス	

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

## (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「学校法人未来創造学園熊本デザイン専門学校教職員研修規程」に基づき、専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを、関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立てて実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: Adobe FireflyとAdobe Expressの生成AI機能 連携企業等: 加賀ソルネット

期間: 令和6年9月18日 15時~16時 対象: 専門学校教職員等

内容 [1]学校で役立つ動画活用の事例[2]Adobe Expressの動画作成機能の紹介[3]Adobe Firefly(画像生成AI)との連携[4]

実習: ExpressとFireflyで動画を制作する

研修名: 第32回広告セミナー 連携企業等: 熊本広告業協会

期間: 令和6年9月26日(木) 15時00分~16時30分 対象: 専門学校教職員等

内容
地域の未来を拓くクリエーティブ~ローカル×ソーシャルの実験的アプローチ。

研修名: Adobe公式デジタルクリエイティブ基礎講座 連携企業等: 加賀ソルネット

期間: 令和6年6月12日(水)15時~16時 対象: 専門学校教職員等

内容 最新のwebクリエイティブ・ツールの概要と使用するための基礎講座

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 最新生成AIトレンドについて 連携企業等:未来創造学園

期間: 令和6年7月31日(水)14時15分~16時 対象:企業・学校関係者等

内容 AI導入の成功事例、AI活用による地域戦略、人材育成の新しい方法論

研修名: 発達障害のある生徒への具体的な支援/合理的配慮 連携企業等: 熊本市発達障がい者支援センターみなわ

期間: 令和6年8月4日(木)10時~12時 対象: 学校関係者等

内容 合理的配慮の基本、現場で悩みがちなケースの共有、支援や環境調整等についての考え方

研修名: 大学志向が高まる中での専門学校における学生募集 連携企業等:株式会社進研アド 戦略とは

期間: 令和6年9月24日(火)16時~17時 対象: 専門学校教職員等

内容 高等教育機関[大学・専門学校]の最新動向、高校現場における進路研究の最新動向

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 第33回「広告セミナー」 連携企業等: 熊本広告業協会

期間: 令和7年9月19日(金) 15時00分~16時30分 対象: 専門学校教職員等

内容 いまこそ私たちのパーパスを考える。 講師:福永琢磨 氏

研修名: 第9弾! Fire Fly ウェブセミナー 連携企業等: 加賀ソルネット

期間: 令和7年6月25日(水)15:00~16:00 対象: 専門学校教職員等

内容教育現場でも大活躍間違いなしのAI動画最新機能を紹介!

生成AIの正しい使い方とは?学生と教育現場を守るた 研修名: めの倫理とルール! 連携企業等: 加賀ソルネット

期間: 令和7年2月19日(水)15:00~16:00 対象: 専門学校教職員等

内容 生成AIの基礎知識はもちろん、教育現場で安心して活用するための具体的なポイント。

## ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 専門学校における発達障害支援とは? 連携企業等: 筑波大学ダボットプロジェクト

期間: 令和7年1月16日(火)17時~19時 対象: 一般・学校教職員等

内容 専門学校における発達障害支援をテーマとし、知見、学生支援の実態、支援ツールの活用について

未来の専修学校をつくる~教員研修と卒業生調査のヒ 研修名: シルス・ 連携企業等:株式会社三菱総合研究所

期間: 令和7年2月18日(火)16時~18時 対象: 専門学校教職員等

内容教職員とともに成長する学校づくり、教職員への支援のあり方、卒業生調査の活用など

期間: 令和7年8月26日(火)15時~16時 対象: 学校関係者等

内容 近年の大学・短大・専門学校進学者の学力や学習習慣、進学意識について分析

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は教職員で実施した自己評価を、企業・高等学校・保護者・卒業生等の学校関係者それぞれの視点から意見を伺い、お互いの理解を深めるためのものとする。また、その評価の過程において、自己評価の妥当性を検証するとともに、客観性・透明性をより高め、公共性の高い社会に寄与する学校を目指すことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ı	(2) 子珍子以に830の子及計画の117	
	ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
	(1)教育理念・目標	教育理念・目標
	(2)学校運営	学校運営
	(3)教育活動	教育活動
	(4)学修成果	学修成果
	(5)学生支援	学生支援
	(6)教育環境	教育環境
	(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
	(8)財務	財務
	(9)法令等の遵守	法令等の遵守
	(10)社会貢献・地域貢献	
l	(11)国際交流	

## ※(10)及び(11)については任意記載。

## (3)学校関係者評価結果の活用状況

学生支援については概ね良い評価を受けた。学生対応は主に担任が窓口となり、当事者から十分にヒアリングし、本人の意思を確認して対応している。内容に応じて他分掌とも連絡を密にするよう注力しており、今までのとこと大きな問題となることはなく機能している。教育の内部質保証については、職業実践専門課程の認定に伴い順次対応を行っている。今後、情報管理システムを導入し、一元管理を行うとともに、管理体制を階層化し、責任の所在を明確にして管理を徹底していきたい。

### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
有田 滿里子	有限会社有田 代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
島村 徹	一般社団法人熊本県建築士事務所協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
田中 千秋	株式会社放送技研 代表取締役	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
古家 達也	株式会社フィールドワークス 代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
甲斐 広美	在校生保護者	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	保護者委員
内村 友造	同窓会会長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	卒業生委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・) 対報誌等の刊行物・ その他( ))

https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing 令和7年7月1日 URL:

公表時期:

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を 提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者と連携・協力を通じて、健全な学校運営と教職員の資質向上に取り組んでいくことを目的とするため、教育活動等の 学校運営状況に関する情報を提供することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

П		KMIに関するカイトライン JOS 共日 COM M
	ガイドラインの項目	学校が設定する項目
		ホームページ「学校案内」に掲載
		ホームページ「学科紹介」に掲載
	(3)教職員	ホームページ「教員・職員紹介」に掲載
	(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「就職支援」に掲載
	(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校生活」に掲載
		ホームページ「学校生活」に掲載
	(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「入学案内」及び募集要項に掲載
	(8)学校の財務	ホームページ「財務情報」に掲載
	(9)学校評価	ホームページ「学校関係者評価結果」に掲載
	(10)国際連携の状況	
	(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ 体報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing

公表時期 令和7年7月1日

# 授業科目等の概要

				専門課程 グラ	ラフィックデザイン科アートディレクター専 <sup>‡</sup>	攻コ	ース	()								
		分類							授	業プ	方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	位	講義	演習	実験・実習・実技		校外			企業等との連携
1	0			社会研究 I	企業及び職種・業種の研究を行い就職への 動機付けを行う。履歴書の書き方やアポイ ントメントの取り方、挨拶の仕方など就職 活動に必要なコミュニケーション方法を身 につける。また一人一人と就職についての 面接、相談を行い丁寧に就職活動を支援し ていく。	1 後	15	0	0			0		0		
2	0			アイデア発想 基礎	広告代理店で広告やCMのディレクションに携わった教員が発想法を指導する。授業を通じて「デザイン発想力の向上」「自分が進むべきデザインの方向性発見」のきっかけになるようなクリエーティブ作品やエピソードを各方面から多数紹介。	1 前	15	0	0			0		0		
3	0				様々な広告サンプルや事例を通じて広告媒体の展開方法を学ぶ。また、広告業界で使用されている専門用語を各ジャンルの事例 や資料を通じて深く理解する。	1	15	0	0			0		0		
4	0			ビジュアル研 究 I	現代グラフィックデザインの基礎的な用語、歴史、思想、運動、デザインスタイル、時代を代表する作者とその作品の知識を修得する。また過去の歴史が現在のグラフィックデザインに活用されている事例を学ぶことからデザインスタイルの応用力の理解を深める。	1 通	90	0		0		0		0		
5	0				接遇指導の実績のある教員が、社会人としての基礎力を指導する。第一印象から身だしなみ、正しい言葉遣いから、「話す」「聞く」等の表現を実践的に身に付け、公的な場面での好感の持てるマナーやコミュニケーション力を習得する。	1 後	30	0	0			0			0	

6	0		ビジネス概論	経営コンサルタントの実務経験のある教員が利益、集客、価格、などビジネスの仕組みを、各業界別の事例をもとに指導する。ビジネスの構造、流通の仕組み、利益構造の基礎的な知識を修得する。	0	0	
7	0			多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、各専門分野の講師陣からオムニバス 1 形式により具体的実例を専門家の考え方や 前手法を理解する。	0	0	
8	0		ドローイング	形のとり方、構図、バランス、質感の観察力と表現力を養う。モノを創る基本となる見る力・描く力を養い、観察力・表現力を高めていく。形を正確に捉えることから始まり、明暗・立体感・質感の表現へとつなげる。また細密描写や様々な画材による表現テクニックも学習する。	0	0	
9	0			色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。	0	0	
10	0		タイポグラ フィ	広告代理店の制作部でグラフィックデザインを担当した教員がレタリング技能検定の指導する。また検定後は、文字のデザインの基礎からロゴタイプのデザインのバリエーション展開の演習を行う。	0	0	
11	0		広告デザイン I	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、広告デザインの媒体別基礎知識と企画書の作成とともに市場調査分析、ポジショニング、消費者リストアップ、ターゲットの設定、コンセプトメーキングからカンプの表現手法までを指導する。	)	0	

12	0		社会人基礎	どんな仕事(職種)であれ、それを行っていく上で必要とされるカ=社会人基礎力を磨く。社会の出来事を知る→その背景を考える→考えたことを他人に伝える(知る→考える→伝える)という流れを重視し、実社会にそのままつながる学びの場とする。	)		0	
13	0		DTP基礎	Macintosh を 用 い て Illustrator 、 Photoshop、InDesignの基本的操作と技術を 修得する。雑誌の誌面、チラシ、パンフレットのデザイン制作を通して、文字の優 先順位や可読性を理解し、素材のレイアウト、配色計画、デザインの素材制作の技術を、校正を繰り返しながら習熟する。	)	0		
14	0		ホームページ 基礎	印刷会社の制作部でWebデザインを担当した 教員が、その経験を生かしてHTMLマーク アップによるインターネット上での情報発 信技術とスタイルシート・コーディングに よるウェブデザインの技法を指導する。	)	0		
15	0		写真基礎	写真スタジオで広告写真に携わった経験を 持つ教員が、カメラの扱い方から写真の基 礎知識・技術の指導を行う。	)		0	
16	0		造形演習	立方体を同一の型とし、異なる素材による 質感、量感、立体感。存在感の違いを考察 し、美意識の理論的思考を養う。同時に手 仕事による職人的技術を修得し、仕上げ技 術が美に影響する重要性を実技を理解す る。	)	0		
17	0		知的財産学	弁理士として知的財産業務に携わった経験を持つ教員が、知的財産の基礎知識と活用 1 方法、対処方法について、様々な具体的事 後 15 〇 △ 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	)		0	0

18	0	修了制作	広告の実務経験がある教員が、地域活性化と社会貢献を目標に自らテーマを求め、グラフィックデザインによる解決策を指導する。問題を提起し、解決策の企画立案から調査分析、デザイン制作、プレゼンテーションまでの広告の一連の流れを修得する。	
19	0	· ·	広告代理店においてクリエイティブディレクターとして広告の企画からマネージメントまでを担当した実務経験のある教員が、マーケティングからターゲットの分析、設定、チャート作成、企画書作成、プレゼンテーションまでの一連の流れを指導する。	0
20	0	ビジュアル研 究Ⅱ	業界講話や活躍されているデザイナーを紹介し、自身の就職活動について意欲的に考える姿勢を身に付ける。グループワークも交えデザインの考え方を深め言葉で表現する力を養う。そして、その考察したものから意味のあるアウトプットを目指す。	
21	0	DTP演習	Illustrator、Photoshop、InDesignの基本 的操作と技術を修得する。雑誌の誌面、チ ラシ、パンフレットのデザイン制作を通し て、文字の優先順位や可読性を理解し、素 材のレイアウト、配色計画、デザインの素 材制作の技術を、校正を繰り返しながら習 熟する。	
22	0	ホームページ デザイン	印刷会社の制作部でWebデザインを担当し制作した経験のある教員がその経験を生かして、HTMLマークアップによる情報の階層化をすることでプログラミングへの検索エンジン最適化をさせ、CSSコーディングによるウェブデザインのトレンドを踏襲しUI、UXを最適化することを指導する。	0
23	0	CIデザイン	ブランディングデザインの基本的な考え方であるCIデザインのプロセスを学習。演習課題や産学連携課題に取り組むことで社会におけるブランディングの位置づけや重要性を理解する。	

24	0		広告デザイン	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、交通広告、テレビ 2 CM、地域活性化のためのポスター制作を指導する。	0
25	0			Web制作業務に携わった経験を持つ教員がその経験を生かしてWebフレームワークに関する技術を指導する。	0
26	0		はジャック図	Word、Excelの基本操作を習得し、それぞれの特徴を活かした処理方法を学習する。 Word・Excel及びCanvaを利用した実務における応用方法を学習する。	0
27	0		モーショングラフィックス	グラフィックデザインの知識を活かし、その技術を映像の世界に拡張するための基礎知識を学びます。ポスターの静止画のオブジェクトが動き、サウンドとのシンクロによって表現されるモーショングラフィックを体験し、映像はグラフィックの延長線上にある技術である事を学びます。	0
28	0		卒業制作	卒業制作は各自が自由に設定したテーマに対し、これまで習得してきたグラフィックデザイン領域に関する専門的な知識や、技術、感性、表現などを使い、これからの社会への問題提起・解決に向けての提案を行っていく。	
29		0	マーケティング	マーケティングの基礎を学び、ワークショップ形式でアウトプットすることに 2 3 90 0 0 0 0 に実践力を身に着ける。	

30		0		広告演習	空間・色彩・文字デザインを意識した、ミニマルデザイン (無駄をはぶいた引き算のデザイン) や、フラットデザイン (平面的なデザイン) による企業ブランドイメージの展開をシミュレーションする。	2	90		0	0	0		
31		0		デザインナ レッジ	古来より伝わるアナログ技法を知識として吸収するために、陶芸、染色など演習を通じて学んでいく。また、建築やファン分野についても広義に学ぶ。実際に美術館や博物館の見学を実施し表現の見識も広げる。また、クリエイターやデザイン以外の専門家のレクチャーからディレクション、マネージメントについても学習する。	2 通	90	0	0	0		0	
	合計 1920 単位(単位時間)												

卒業要件及び履修方法	授業期間等				
・出席率が80%以上であること ・当該年次の科目全てに合格すること ・卒業制作または卒業研究に合格すること ・当該年次の授業料等諸経費が完納されていること	1 学年の学期区分	2 期			
履修方法: 学則に定める教育課程に基づき授業科目を履修し、学修の評価により科目を修得する。	1 学期の授業期間	15 週			

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名												
熊本デザイン専門	門学校	平成	5年12月2	24日	校長	内藤謙一	〒 (住所)	862-0973 熊本県熊本市中央I	区大江本町2-5			
設置者名		設立	拉認可年月	日	代表	養者名	(電話)	096-364-8500	所在地			
学校法人未来創	造学園	平月	龙22年3月2	2日	理事長	吉山昌利	〒 (住所)	862-0976 熊本県熊本市中央I	区九品寺2丁目2-38			
分野		認定課程名	i		認定学科名	名		096-362-5656 門士認定年度	高度専門士認定	定年度	職業実践専	専門課程認定年度
文化•教養				グラフィックデザイン科イラスト レーション専攻コース 平成 7(1995)年度		-			28(2016)年度			
学科の目的		クデザイン業 育成すること?		集界で必須と			フィックソフト	等について学修し、ユ・	ーザーのニーズに対し	て的確なっ		デザイン制作ができ
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	文部科学	省後援 色彩	検定が取得	导可能。								
修業年限	昼夜	全課程の修	多了に必要 単位	な総授業時 立数	数又は総	講事	É	演習	実習	J	<b>実験</b>	実技
2	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	1,920 1		90	単位時間	1,830 単位時間	0 単位時間	(	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員	生徒3	実員(A)	留学生	数 (生徒実員のF	単位 内数)(B)	留学生割·	単位 合(B/A)	中退率	単位		単位	単位
140 人	117			0			%	7 %				
140 /	■卒業者	数 (C)	:		10	0		7 /4				
	■就職希 ■就職者	望者数(D)	:		9		人	•				
	■地元勍	職者数(F)			7		<u> </u>					
	■就職率	《(E/D) に占める地		) 훼수 (F/E/	100		%					
					77		%					
	■卒業者	に占める就職	職者の割合	(E/C)	90		04					
お歴年のより	■進学者	数			0		<u>%</u> 人					
就職等の状況	■その他											
	(令和	6	年度卒業者	に関する令種	和 <b>7</b> 年5月	1日時点の情	報)					
	■主な就	職先、業界	等									
	/ Alforder B	<b>左女坐</b>										
	(令和6年月		. +			_ +*						
		<sup>薬学来主)</sup> 会社、デザ	イン事務所	所、印刷会社	±、Webプロ	コダクション						
	広告制作	会社、デザ			生、Webプロ	コダクション		無				
第三者による	広告制作 ■民間の		<b>手から第三</b>	.者評価:	注、Webプロ	コダクション		無				
第三者による 学校評価	広告制作 ■民間の	会社、デザ )評価機関等 合、例えば以下	<b>手から第三</b>	.者評価:	±、Webプロ			評	価結果を掲載した			
	広告制作 ■民間の	会社、デザ	<b>手から第三</b>	.者評価:	生、Webプロ	<b>コダクション</b> 受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURL			
学校評価 当該学科の	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以下 評価団体:	等から第三 ドについて任	者評価: 意記載	±、Webプロ			評				
学校評価 当該学科の	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザ )評価機関等 合、例えば以下	等から第三 ドについて任	者評価: 意記載	生、Webプロ			評				
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 合、例えば以下 評価団体: www.kumama	等から第三 ドについて任 oto-design	者評価: 意記載	注、Webプロ			評				
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 会、例えば以下 評価団体: www.kumamo	等から第三 FICOLVで任 oto-design 5算定)	者評価: 意記載	注、Webプロ			評		1 92	() 磁介味問	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 A、例えば以下 評価団体: www.kumamo 立時間による 総授業時数	等から第三 FICOLYTE oto-design 5算定)	者評価: 意記載 n.ac.jp		受審年月:	松口生米和	評		1, 920	0 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	評価機関等 評価機関等 A、例えば以下 評価団体: www.kumamo 立時間による 総授業時数	序から第三 FICOLYTE oto-design 5算定) な うち企業等	者評価: 意記載 n.ac.jp	実験・実習	受審年月: 習・実技の授	業時数	評			単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・例えば以下 評価団体: www.kumame 立時間による 総授業時数	等から第三 Fricot v T d oto-design な うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 n.ac.jp	実験・実習	受審年月: 習・実技の授	業時数	評		4!	単位時間 5 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・例えば以下 評価団体: www.kumame 立時間による 総授業時数	等から第三 First out of the design oto-design 5 算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修持	者評価: 急記載 n.ac.jp をと連携した をと連携した 受業時数	実験・実習	受審年月: 習・実技の授 業時数		帮水		4!	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・例えば以下 評価団体: www.kumame 立時間による 総授業時数	等から第三 First out of the design oto-design 5 算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修持	者評価: 意記載 n.ac.jp 等と連携した を要等時数 うち企業等	実験・実習に演習の授業と連携した	受審年月: 習・実技の授 業時数	・実習・実	評 ホ <b>技の授業時数</b>		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・例えば以下 評価団体: www.kumame 立時間による 総授業時数	等から第三 First out of the design oto-design 5 算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修持	者評価: 意記載 n.ac.jp 等と連携した を要等時数 うち企業等	実験・実習に演習の授業と連携した	受審年月: 習・実技の授 業時数	・実習・実	評 ホ <b>技の授業時数</b>		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・例えば以下 評価団体: www.kumame 立時間による 総授業時数	等から第三 FICOLVITE oto-design 5算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修持	者評価: 意記載 n.ac.jp 身と連携した 受楽時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した	受審年月: 習・実技の授 業時数	・実習・実の授業時数	評 ホ <b>技の授業時数</b>		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携したた実習等の実施状況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・例えば以下 評価団体: www.kumame 立時間による 総授業時数	等から第三 FICOLVITE oto-design 5算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修持	者評価: 意記載 n.ac.jp 身と連携した 受楽時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した	受審年月: 望・実技の授 業時数 - 必修の実験 - 必修の実験	・実習・実の授業時数	評 ホ <b>技の授業時数</b>		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間 5 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・例えば以下 評価団体: www.kumame 立時間による 総授業時数	等から第三 FICOLVITE oto-design 5算定) な うち企業等 うち企業等 (うち企業	者評価: 意記載 n.ac.jp 身と連携した 受楽時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した	受審年月: 望・実技の授 業時数 - 必修の実験 - 必修の実験	・実習・実の授業時数	評 ホ <b>技の授業時数</b>		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間 5 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した状況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 計・例えば以下 評価団体: www.kumamo 位時間による 総授業時数	等から第三 FICOLVITE oto-design 5算定) な うち企業等 うち企業等 (うち企業	者評価: 意記載 n.ac.jp 身と連携した 受楽時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した	受審年月: 望・実技の授 業時数 - 必修の実験 - 必修の実験	・実習・実の授業時数	評 ホ <b>技の授業時数</b>		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間 5 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況への表である。	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 計・例えば以下 評価団体: www.kumamo 立時間による 総授業時数 し 立数による 多 数による 多	等から第三 FRICOLN TEM oto-design も算定) な うち企業等 うち企業等 (うち企ま 算定)	者評価: 意記載 nac.jp pと連携した を連携した 要乗時数 うち企業等 うち企業等と連携し	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した	受審年月: 望・実技の授 業時数 - 必修の実験 - 必修の実験	・実習・実 の授業時数 授業時数)	評 ホ <b>技の授業時数</b>		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (名、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・例えば以下 評価団体: www.kumamo 立時間による 総授業時数 し 立数による第 総単位数	等から第三 F について任 oto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 算定) (うち企業 算定) (うち企業 第定)	者評価: 意記載 nac.jp pと連携した を連携した 要乗時数 うち企業等 うち企業等と連携し	実験・実習の授業と連携したと連携したたインター	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 一ンシップの	・実習・実 の授業時数 授業時数)	評 ホ <b>技の授業時数</b>		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (名、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 会、例えば以下 www.kumamo 位時間による 総授業時数 の 総投業の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	等から第三 F について任 oto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 算定) (うち企業 算定) (うち企業 第定)	者評価: 意記載 nac.jp 与と連携した を連携した 要乗時数 うち企業等 うち企業等と連携し をを連携した をと連携した	実験・実習の授業と連携したと連携したたインター	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 一ンシップの	・実習・実 の授業時数 授業時数)	評 ホ <b>技の授業時数</b>		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 9 単位時間 9 単位時間 10 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (名、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 会、例えば以下 www.kumamo 位時間による 総授業時数 の 総投業の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	等から第三 F について任 oto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 算定) (うち企業 算定) うち企業等 うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 nac.jp 与と連携した テと連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携し をと連携した をと連携した	実験・実習 演習の授素 と連携した たインター 実験・実習 演習の単位	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 一ンシップの	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 位数	辞水		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間 6 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (名、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 会、例えば以下 www.kumamo 位時間による 総授業時数 の 総投業の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	等から第三 F について任 oto-design る算定) な うち企業等 うち企業等 算定) (うち企業 算定) うち企業等 うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 nac.jp 与と連携した 要業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した 等と連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をとををできる。	実験・実習 次習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター	受審年月:  聖・実技の授業時数  - 必修の実験 - 心をの実験 - ンシップの  昭・実技の単 立数	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実	辞水		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間 6 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況への表である。	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 会、例えば以下 www.kumamo 位時間による 総授業時数 の 総投業の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	等から第三 F	者評価: 意記載 nac.jp 事と連携した 要素時数 うち企業等 うち企業等と連携し を 等と連携した うち企業等 うち企業等 と連携した うち企業等	実験・実習 次習の授まと連携したたインター 実験・実習 実験・実習 と連携したたインター と連携したと連携したと連携したと	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 一ンシップの  留・実技の単立数  必修の実験	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数	辞水		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位中間 6 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した状況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 会、例えば以下 www.kumamo 位時間による 総授業時数 の 総投業の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	等から第三 F	者評価: 意記載 nac.jp 事と連携した 要素時数 うち企業等 うち企業等と連携し を 等と連携した うち企業等 うち企業等 と連携した うち企業等	実験・実習 次習の授まと連携したたインター 実験・実習 実験・実習 と連携したたインター と連携したと連携したと連携したと	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 こ必修の実験 一ンシップの  留・実技の単立数	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数	辞水		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 6 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況への表である。	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 会、例えば以下 www.kumamo 位時間による 総授業時数 の 総投業の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	等から第三 F	者評価: 意記載 nac.jp 事と連携した 要素時数 うち企業等 うち企業等と連携し を 等と連携した うち企業等 うち企業等 と連携した うち企業等	実験・実習 次習の授まと連携したたインター 実験・実習 実験・実習 と連携したたインター と連携したと連携したと連携したと	受審年月:  留・実技の授業時数  必修の実験 一ンシップの  留・実技の単立数  必修の実験	・実習・実 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数	辞水		4! 4!	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位中間 6 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (名、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・・ 例えば以下 www.kumame 位数 位数 による 数 による数 「でその担	等から第三 (すっ) まな (ます)	者評価:  書記載  nac.jp  をと連携したた  を要業等な企業等  うちな企業等  と連携した  なな業等  なな変勢を  ななませ  なななます  ななませ  なななます  ななませ  なるなます  なるななます  なるななます  なるなななななななななな	実験・実習の授まと連携したたインター 実演習の担意と連携したたインター 実演習の単位と連携したたインター と連携したた後あの	受審年月:  『・実技の授業時数 ・必修の実験である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 力授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数)	辞水	-AX-VUR L	41 41	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位中間 6 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況への表	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 等は価機以 が が が が が が が が が が が が が	等から第三 (すっ) まな (ます)	者意記載  ac.jp  per be to the total ac.jp  per be to the total ac.jp  per be total ac.j	実験・実習の授まと連携したたインター 実演習の担意と連携したたインター 実演習の単位と連携したたインター と連携したた後あの	受審年月:  『・実技の授業時数 ・必修の実験である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数) (専修学	技の授業時数	一ムベージURL	41 41 (	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況か に記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・計算の ・計算の ・計算の ・対理の ・対	等からいで任 が第三年 のto-design のto-design のすり のすり のすり のすり のすり のすり のすり のすり	者評価: 者意記載 nac.jp  をと連携しした  を要業ちる企業携しした  を連携したた  を強要等等した。  は他位ううち後、業等等した  では業務に、また。  は他の方のでは、また。  は他の方のでは、また。  はないでは、また。  はいまた。  はいまた。 はいまたまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまたまた。 はいまた。 はいまたまた。 はいまたまた。 はいまたまた。 はいまたまた	実験・実習の授まと連携したたインター 実演習の担意と連携したたインター 実演習の単位と連携したたインター と連携したた後であった後であった後であった。	受審年月:  『・実技の授業時数 ・必修の実験である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数) (専修学	技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第15	- ムベージURL 関第1号) 関第2号)	41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 4	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 4 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 6 単位中間 6 単位 7 単位 7 単位 7 単位 7 単位 8	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実施がよりに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・計算の ・計算の ・計算の ・対象 ・対象 ・対象 ・対象 ・対象 ・対象 ・対象 ・対象	等からいで任 oto-design のすった。 のす。 のすった。 のすった。 のすった。 のすった。 のすった。 のすった。 のす。 のすった。 のすった。 のすった。 のする。 のする。 のすった。 のす。 のす。 のす。 のす。 のす。 のす。 のす。 のす	者評価:  お意記載  nac.jp  をと連携しした  をと楽等ちる企連携しした  をと連携的な業等等はしたた  をと連携的な企業表別である企連携に  を修事をと連連方うちを連携に  を修事をと連びまる。  は、これを表別である。  は、これを表別できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	実験・実習の授まと連携したたインター 実演習の担意と連携したたインター 実演習の単位と連携したたインター と連携したた後であった後であった後であった。	受審年月:  『・実技の授業時数 ・必修の実験である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 の授業時数) 位数 ・実習・実 の単位数) (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第15	- ムベージURL (第1号) (第2号) (第3号)	41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 4	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 9 単位時間 9 単位時間 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況かに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 学当体 以 か な   を	等からいで任任のto-design oto-design のでは、   の   の   の   の   の   の   の   の   の	者評価: 者意記載 nac.jp  をと連携しした  を要業ちる企業携しした  を連携したた  を強要等等した。  は他位ううち後、業等等した  では業務に、また。  は他の方のでは、また。  は他の方のでは、また。  はないでは、また。  はいまた。  はいまた。 はいまたまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまたまた。 はいまた。 はいまたまた。 はいまたまた。 はいまたまた。 はいまたまた	実験・実習の授まと連携したたインター 実演習の担意と連携したたインター 実演習の単位と連携したたインター と連携したた後であった後であった後であった。	受審年月:  『・実技の授業時数 ・必修の実験である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 力授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 力単位数) (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第15 校設置基準第41条第15 校設置基準第41条第15	- ムベージURL ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 4	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 9 単位時間 9 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がよりに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 評価機関等 ・計算の ・計算の ・計算の ・対象 ・対象 ・対象 ・対象 ・対象 ・対象 ・対象 ・対象	等からいで任任のto-design oto-design のでは、   の   の   の   の   の   の   の   の   の	者評価:  お意記載  nac.jp  をと連携しした  をと楽等ちる企連携しした  をと連携的な業等等はしたた  をと連携的な企業表別である企連携に  を修事をと連連方うちを連携に  を修事をと連びまる。  は、これを表別である。  は、これを表別できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	実験・実習の授まと連携したたインター 実演習の担意と連携したたインター 実演習の単位と連携したたインター と連携したた後であった後であった後であった。	受審年月:  『・実技の授業時数 ・必修の実験である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 力授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 力単位数) (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第11 校設置基準第41条第15	- ムベージURL ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 4	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 9 単位時間 9 単位時間 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位 9 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がよりに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ 学当体 以 か な   を	等からいで任任のto-design oto-design のでは、   の   の   の   の   の   の   の   の   の	者評価:  お意記載  nac.jp  をと連携しした  をと楽等ちる企連携しした  をと連携的な業等等はしたた  をと連携的な企業表別である企連携に  を修事をと連連方うちを連携に  を修事をと連びまる。  は、これを表別である。  は、これを表別できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	実験・実習の授まと連携したたインター 実演習の担意と連携したたインター 実演習の単位と連携したたインター と連携したた後であった後であった後であった。	受審年月:  『・実技の授業時数  ・必修の実験である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 力授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 力単位数) (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第15 校設置基準第41条第15 校設置基準第41条第15	- ムベージURL ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 4	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 9 単位時間 9 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施が、した況か に記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://v	会社、デザ関係では、 評価機以下で、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	等からいで任任のto-design oto-design のでは、   の   の   の   の   の   の   の   の   の	者評価:  お意記載  nac.jp  をと連携しした  をと楽等ちる企連携しした  をと連携的な業等等はしたた  をと連携的な企業表別である企連携に  を修事をと連連方うちを連携に  を修事をと連びまる。  は、これを表別である。  は、これを表別できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	実験・実習の授まと連携したたインター 実演習の担意と連携したたインター 実演習の単位と連携したたインター と連携したた後であった後であった後であった。	受審年月:  『・実技の授業時数  ・必修の実験である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習・実 力授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実 力単位数) (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 校設置基準第41条第15 校設置基準第41条第15 校設置基準第41条第15	- ムベージURL ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 41 4	単位時間 5 単位時間 5 単位時間 9 単位時間 9 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 0 人 0 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の 編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 業界における人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、必要な実務に関する知識や技能などを十分に把握・分析したうえで、当該専門課程の教育を施すためにふさわしいと考えられる授業科目の開設や、授業内容・方法の改善・工夫を行い、企業の要請を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に行うために、教育課程編成委員会を設置する。

### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会委員は学校法人未来創造学園職員及び企業・団体役職者等の外部委員からなるものとし、互いの視点からの意見を積極的に交換・活用し、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置付ける。

教育課程編成委員会は、各学科から示されたカリキュラム等の内容や実施状況について、業界において必要となる技術や知識を有する人材を育てる観点から十分な審議を行い、教育課程の編成や内容についての具体的な方策を講じ、意見表明を行う。 その後、各学科において当該意見を反映した授業実施案を作成し、次回の教育課程編成委員会にて報告・審議・承認を受けたのち、学校長決裁を経て次年度教育課程が決定される。

## (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
川口 滋	くまもとデザイン協議会会長/有限会社ダーク 会長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
古家 達也		令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
内藤謙一	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 学校長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児玉 守	丁  太仏八小小心  塩丁四  流介   ノーノサ  丁  太	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
高峯 英幸	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児玉 竜也	教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
宮﨑 和子	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月2日 11:00~12:00 第2回 令和7年3月21日 11:00~12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

第1回

・知的財産学は、1年次中期にて授業実施。権利の話とデザインを取り巻く業界の状況を時系列で説明しながら学習させる・2年生は引き続き積極的に企業課題を取り組んでいく。

第2回

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

## (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを、関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立てて実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

教育課程編成委員会等において出された意見を基に、事前に職業教育協定書により協定を締結した企業側講師と担当教員による綿密な打ち合わせを行い、授業内容や学修成果の評価方法を決定する。また、演習期間中は随時情報交換を行うことで、学修効果の向上を図るとともに、演習終了後には、企業側講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
知的財産学	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	本演習はデザイン業界はもとより社会的に重要とされている著作権,意匠権,商標権などの知的財産に関わる基礎的知識や活用方法を履修し,自らが制作した著作物やクライアントから依頼された制作物をビジネス上,管理を円滑に行うための基礎知識を履修する。また,自らが創作した著作物や創作物を模倣された場合の対処方法についても検討を行っていく。	

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「学校法人未来創造学園熊本デザイン専門学校教職員研修規程」に基づき、専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを、関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立てて実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

## (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: Adobe FireflyとAdobe Expressの生成AI機能 連携企業等:加賀ソルネット

期間: 令和6年9月18日 15時~16時 対象: 専門学校教職員等

[1] 学校で役立つ動画活用の事例[2] Adobe Expressの動画作成機能の紹介[3] Adobe Firefly(画像生成AI)と

の連携[4]実習:ExpressとFireflyで動画を制作する

研修名: 第32回広告セミナー 連携企業等: 熊本広告業協会

期間: 令和6年9月26日(木) 15時00分~16時30分 対象: 専門学校教職員等

内容
地域の未来を拓くクリエーティブ~ローカル×ソーシャルの実験的アプローチ。

研修名: Adobe公式デジタルクリエイティブ基礎講座 連携企業等:加賀ソルネット

期間: 令和6年6月12日(水)15時~16時 対象: 専門学校教職員等

内容 最新のwebクリエイティブ・ツールの概要と使用するための基礎講座

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 最新生成AIトレンドについて 連携企業等:未来創造学園

期間: 令和6年7月31日(水)14時15分~16時 対象:企業・学校関係者等

内容 AI導入の成功事例、AI活用による地域戦略、人材育成の新しい方法論

研修名: 発達障害のある生徒への具体的な支援/合理的配慮 連携企業等: 熊本市発達障がい者支援センターみなわ

期間: 令和6年8月4日(木)10時~12時 対象: 学校関係者等

内容 合理的配慮の基本、現場で悩みがちなケースの共有、支援や環境調整等についての考え方

大学志向が高まる中での専門学校における学生募集戦略 連携企業等:株式会社進研アド

期間: 令和6年9月24日(火)16時~17時 対象: 専門学校教職員等

内容 高等教育機関[大学・専門学校]の最新動向、高校現場における進路研究の最新動向

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 第33回「広告セミナー」 連携企業等: 熊本広告業協会

期間: 令和7年9月19日(金) 15時00分~16時30分 対象: 専門学校教職員等

内容 いまこそ私たちのパーパスを考える。 講師: 福永琢磨 氏

研修名: 第9弾! Fire Fly ウェブセミナー 連携企業等: 加賀ソルネット

期間: 令和7年6月25日(水)15:00~16:00 対象: 専門学校教職員等

内容教育現場でも大活躍間違いなしのAI動画最新機能を紹介!

研修名: 生成AIの正しい使い方とは?学生と教育現場を守るため 連携企業等:加賀ソルネット の倫理とルール!

期間: 令和7年2月19日(水)15:00~16:00 対象: 専門学校教職員等

内容 生成AIの基礎知識はもちろん、教育現場で安心して活用するための具体的な ポイント。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 専門学校における発達障害支援とは? 連携企業等: 筑波大学ダボットプロジェクト

期間: 令和7年1月16日(火)17時~19時 対象: 一般・学校教職員等

内容 専門学校における発達障害支援をテーマとし、知見、学生支援の実態、支援ツールの活用について

研修名: 本来の専門子校をうべるで教員が同と平来主調査のピンド 連携企業等:株式会社三菱総合研究所

期間: 令和7年2月18日(火)16時~18時 対象: 専門学校教職員等

内容 教職員とともに成長する学校づくり、教職員への支援のあり方、卒業生調査の活用など

研修名: 教育目標の達成に向けた『入学前』からの指導体制づくり 連携企業等:株式会社進研アド

期間: 令和7年8月26日(火)15時~16時 対象: 学校関係者等

内容 近年の大学・短大・専門学校進学者の学力や学習習慣、進学意識について分析

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、 評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は教職員で実施した自己評価を、企業・高等学校・保護者・卒業生等の学校関係者それぞれの視点から意見を伺い、お互いの理解を深めるためのものとする。また、その評価の過程において、自己評価の妥当性を検証するとともに、客観性・透明性をより高め、公共性の高い社会に寄与する学校を目指すことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

### ※(10)及び(11)については任意記載。

## (3)学校関係者評価結果の活用状況

学生支援については概ね良い評価を受けた。学生対応は主に担任が窓口となり、当事者から十分にヒアリングし、本人の意思 を確認して対応している。内容に応じて他分掌とも連絡を密にするよう注力しており、今までのとこと大きな問題となることはなく 機能している。

教育の内部質保証については、職業実践専門課程の認定に伴い順次対応を行っている。今後、情報管理システムを導入し、一元管理を行うとともに、管理体制を階層化し、責任の所在を明確にして管理を徹底していきたい。

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
有田 滿里子	有限会社有田 代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
島村 徹	一般社団法人熊本県建築士事務所協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
田中 千秋	株式会社放送技研 代表取締役	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
古家 達也	株式会社フィールドワークス 代表取締役社長	01H(E+7	企業等委員
甲斐 広美	在校生保護者	014(14)	保護者委員
内村 友造	同窓会会長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	卒業生委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

))

URL: https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing

公表時期: 令和7年7月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者と連携・協力を通じて、健全な学校運営と教職員の資質向上に取り組んでいくことを目的とするため、教育活動等の学校運営状況に関する情報を提供することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(4)   守门子校にのける情報佐供寺への取組に関	<b>剝りるハイトフィン」の項日との対心</b>
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校案内」に掲載
(2)各学科等の教育	ホームページ「学科紹介」に掲載
(3)教職員	ホームページ「教員・職員紹介」に掲載
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「就職支援」に掲載
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校生活」に掲載
	ホームページ「学校生活」に掲載
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「入学案内」及び募集要項に掲載
(8)学校の財務	ホームページ「財務情報」に掲載
(9)学校評価	ホームページ「学校関係者評価結果」に掲載
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・) 本報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing

公表時期: 令和7年7月1日

# 授業科目等の概要

				<b>養専門課程 グラ</b>	ラフィックデザイン科イラストレーション専 <sup>ュ</sup>	攻コ	ース	()								
		分類	Į						授	業プ		場	所	教	員	
	必修	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講	演習	実験・実習・実技		校外			企業等との連携
1	0			社会研究 I	企業及び職種・業種の研究を行い就職への 動機付けを行う。履歴書の書き方やアポイ ントメントの取り方、挨拶の仕方など就職 活動に必要なコミュニケーション方法を身 につける。また一人一人と就職についての 面接、相談を行い丁寧に就職活動を支援し ていく。	1 後	15	0	0			0		0		
2	0			アイデア発想 基礎	広告代理店で広告やCMのディレクションに携わった教員が発想法を指導する。授業を通じて「デザイン発想力の向上」「自分が進むべきデザインの方向性発見」のきっかけになるようなクリエーティブ作品やエピソードを各方面から多数紹介。	1 前	15	0	0			0		0		
3	0			広告概論	様々な広告サンプルや事例を通じて広告媒体の展開方法を学ぶ。また、広告業界で使用されている専門用語を各ジャンルの事例 や資料を通じて深く理解する。	1	15	0	0			0		0		
4	0			ビジュアル研 究 I	現代グラフィックデザインの基礎的な用語、歴史、思想、運動、デザインスタイル、時代を代表する作者とその作品の知識を修得する。また過去の歴史が現在のグラフィックデザインに活用されている事例を学ぶことからデザインスタイルの応用力の理解を深める。	1 通	90	0		0		0		0		
5	0				接遇指導の実績のある教員が、社会人としての基礎力を指導する。第一印象から身だしなみ、正しい言葉遣いから、「話す」「聞く」等の表現を実践的に身に付け、公的な場面での好感の持てるマナーやコミュニケーション力を習得する。	1 後	30	0	0			0			0	

6	0	ビジネス概論	経営コンサルタントの実務経験のある教員が利益、集客、価格、などビジネスの仕組みを、各業界別の事例をもとに指導する。ビジネスの構造、流通の仕組み、利益構造の基礎的な知識を修得する。	0
7	0	総合デザイン論	多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、各専門分野の講師陣からオムニバス 1 形式により具体的実例を専門家の考え方や 前 15 〇 〇 手法を理解する。	0
8	0	ドローイング	形のとり方、構図、バランス、質感の観察 力と表現力を養う。モノを創る基本となる 見る力・描く力を養い、観察力・表現力を 高めていく。形を正確に捉えることから始 まり、明暗・立体感・質感の表現へとつな げる。また細密描写や様々な画材による表 現テクニックも学習する。	0
9	0	ベーシックデ ザイン	色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。	0
10	0	タ イ ポ グ ラ フィ	広告代理店の制作部でグラフィックデザインを担当した教員がレタリング技能検定の指導する。また検定後は、文字のデザインの基礎からロゴタイプのデザインのバリエーション展開の演習を行う。	0
11	0	広告デザイン I	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、広告デザインの媒体別基礎知識と企画書の作成とともに市場調査分析、ポジショニング、消費者リストアップ、ターゲットの設定、コンセプトメーキングからカンプの表現手法までを指導する。	0

12	0	社会人基礎	どんな仕事(職種)であれ、それを行っていく上で必要とされるカ=社会人基礎力を磨く。社会の出来事を知る→その背景を考える→考えたことを他人に伝える(知る→考える→伝える)という流れを重視し、実社会にそのままつながる学びの場とする。		0
13	0	DTP基礎	Macintosh を 用 い て Illustrator 、 Photoshop、InDesignの基本的操作と技術を 修得する。雑誌の誌面、チラシ、パンフレットのデザイン制作を通して、文字の優 先順位や可読性を理解し、素材のレイアウト、配色計画、デザインの素材制作の技術を、校正を繰り返しながら習熟する。	0	
14	0	ホームページ 基礎	印刷会社の制作部でWebデザインを担当した 教員が、その経験を生かしてHTMLマーク アップによるインターネット上での情報発 信技術とスタイルシート・コーディングに よるウェブデザインの技法を指導する。	0	
15	0	写真基礎	写真スタジオで広告写真に携わった経験を 持つ教員が、カメラの扱い方から写真の基 礎知識・技術の指導を行う。		0
16	0	造形演習	立方体を同一の型とし、異なる素材による 質感、量感、立体感。存在感の違いを考察 し、美意識の理論的思考を養う。同時に手 仕事による職人的技術を修得し、仕上げ技 術が美に影響する重要性を実技を理解す る。	0	
17	0	知的財産学	弁理士として知的財産業務に携わった経験を持つ教員が、知的財産の基礎知識と活用 1 大法、対処方法について、様々な具体的事 後 15 〇 △ 〇 ○ ○ 例をもとに講義する。		0 0

18	0	修了制作	広告の実務経験がある教員が、地域活性化と社会貢献を目標に自らテーマを求め、グラフィックデザインによる解決策を指導する。問題を提起し、解決策の企画立案から調査分析、デザイン制作、プレゼンテーションまでの広告の一連の流れを修得する。	0
19	0		広告代理店においてクリエイティブディレクターとして広告の企画からマネージメントまでを担当した実務経験のある教員が、マーケティングからターゲットの分析、設定、チャート作成、企画書作成、プレゼンテーションまでの一連の流れを指導する。	0
20	0	ビジュアル研 究 II	業界講話や活躍されているデザイナーを紹介し、自身の就職活動について意欲的に考える姿勢を身に付ける。グループワークも交えデザインの考え方を深め言葉で表現する力を養う。そして、その考察したものから意味のあるアウトプットを目指す。	0
21	0	DTP演習	Illustrator、Photoshop、InDesignの基本的操作と技術を修得する。雑誌の誌面、チラシ、パンフレットのデザイン制作を通して、文字の優先順位や可読性を理解し、素材のレイアウト、配色計画、デザインの素材制作の技術を、校正を繰り返しながら習熟する。	0
22	0	ホームページ デザイン	印刷会社の制作部でWebデザインを担当し制作した経験のある教員がその経験を生かして、HTMLマークアップによる情報の階層化をすることでプログラミングへの検索エンジン最適化をさせ、CSSコーディングによるウェブデザインのトレンドを踏襲しUI、UXを最適化することを指導する。	0
23	0	CIデザイン	ブランディングデザインの基本的な考え方であるCIデザインのプロセスを学習。演習課題や産学連携課題に取り組むことで社会におけるブランディングの位置づけや重要性を理解する。	0

24	0		広告デザインⅡ	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、交通広告、テレビ 2 CM、地域活性化のためのポスター制作を指 通 90 〇	0
25	0		Web演習	Web制作業務に携わった経験を持つ教員がそ の経験を生かしてWebフレームワークに関す る技術を指導する。	0
26	0			Word、Excelの基本操作を習得し、それぞれの特徴を活かした処理方法を学習する。 Word・Excel 及びCanvaを利用した実務における応用方法を学習する。	0
27	0		モーショングラフィックス	グラフィックデザインの知識を活かし、その技術を映像の世界に拡張するための基礎知識を学びます。ポスターの静止画のオブジェクトが動き、サウンドとのシンクロによって表現されるモーショングラフィックを体験し、映像はグラフィックの延長線上にある技術である事を学びます。	0
28	0		卒業制作	卒業制作は各自が自由に設定したテーマに対し、これまで習得してきたグラフィックデザイン領域に関する専門的な知識や、技術、感性、表現などを使い、これからの社会への問題提起・解決に向けての提案を行っていく。	
29		0	イラストレー ション1	イラストレーターとして求められるオリジナリティを追求する。様々な画材を経験し、表現できる世界観の幅を広げる。コンペやグループ展を通してイラストの基礎的な実力を上げる。	

30		0		イラストレー ション2	クライアントや用途を想定した商業イラストを描く。 作画はデジタル、アナログどちらでも可、 提出はデータ。	2 通	90	0	(		0	0		
31		0			出版業界、印刷業界でイラストレーターとして実績を積んできた教員が指導する。絵を描く上で大切な資料収集や作品のモレーフについての研究することでイラストレーションがどのように社会に関りを持ち貢献していくのか考察し、作品制作についとでオコンペで発表し、鑑賞、批評することでオリジナリティを高めていくことを学習する。	2 通	90	0		)	0		0	
	合計 1920 単位(単位時間)													

	卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件:	<ul><li>・出席率が80%以上であること</li><li>・当該年次の科目全てに合格すること</li><li>・卒業制作または卒業研究に合格すること</li><li>・当該年次の授業料等諸経費が完納されていること</li></ul>	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法:	学則に定める教育課程に基づき授業科目を履修し、学修の評価によ り科目を修得する。	1 学期の授業期間	15 週		

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認				長名	₹ ;	862-0973				
熊本デザイン専門	門学校	平成5年	12月2	4日	校長「	内藤謙一	(住所)	熊本県熊本市中央区 096-364-8500	大江本町2-5			
設置者名		設立認	可年月	日	代表	長者名		862-0976	所在地			
学校法人未来創:	造学園	平成2	年3月2	2日	理事長	吉山昌利	(住所)	熊本県熊本市中央区	九品寺2丁目2-38			
分野		認定課程名		認	定学科名	名		096-362-5656 引士認定年度	高度専門士認定	高度専門士認定年度 職業実践専門		
文化・教養 文		上教養専門課和	2	グラフィックラ	デザイン	科雑貨・パッ		7(1995)年度	_			8(2016)年度
		ケージデザイン専攻コース					-ザーのニーズに対して	で的確かく=				
学科の目的 学科の特徴(取得		育成することを目			10000			FIC 20 C F 1900 I	, o= xiexio	CH JHE O I Z	2711 32.51 7	المالية المالية
可能な資格、中退率等)	文部科学	省後援 色彩検	官が取得	<b>异可能</b> 。								
修業年限	昼夜	全課程の修了	に必要 <sup>7</sup> 単位	な総授業時数 i数	又は総	講事	<b>É</b>	演習	実習	実	験	実技
<b>2</b> 年	昼間	※単位時間、単位 かに記入	いずれ	1,920 単行		90	単位時間単位	1,830 単位時間 単位	O 単位時間 単位		単位時間単位	O 単位時間 単位
生徒総定員	生徒劉	実員(A)	留学生数	数(生徒実員の内装		留学生割		中退率				
140 人	117	·		0 人		0	%	7 %				
	■卒業者	数 (C)	:		27		人	,				
	■就職希	·望者数 (D) ·数 (E)	:		26 25		<del></del>					
	■地元就	職者数(F)			21		<u> </u>					
	■就職率 ■就職者	(E/D) に占める地元症	忧職者の	割合 (F/E)	96		%					
					84		%					
		に占める就職者	の割合	(2/0)	93		%					
就職等の状況	■進学者				0		<u></u>					
	(令和	c年l	F水学者	に関する会和	7年5日	1日時点の情	却)					
		職先、業界等	C+**1	ICHO Y WITH	11 4 5 7	1 日昭20007月	HX.)					
	1(分利6年月	「 卒薬牛)										
		₹卒業生) :会社、デザイン	事務所	斤、印刷会社.	、Webプロ	ロダクション						
	広告制作	会社、デザイン			、Webプロ	ロダクション		_				
<b>竺</b> − ≠1− L Z	広告制作 ■民間の		ら第三	者評価:	、Webプロ	ロダクション		無				
第三者による 学校評価	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザイン 評価機関等か お、例えば以下に	ら第三	者評価:	、Webプロ				f 結果を掲載 ↓ た			
	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザイン	ら第三	者評価:	、Webプロ	<b>ロダクション</b> 受審年月:		評価	面結果を掲載した - ムページURL			
	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザイン 評価機関等か お、例えば以下に	ら第三	者評価:	、Webプロ			評価				
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合	会社、デザイン 評価機関等か お、例えば以下に	ら第三	者評価 : 意記載	、Webプロ			評価				
学校評価  当該学科の	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等か 計・例えば以下に 評価団体: www.kumamoto	ら第三: ついて任 -design	者評価 : 意記載	、Webプロ			評価				
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か 、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算	ら第三: ついて任 -design	者評価 : 意記載	、Webプロ			評価				
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 計価機関等か 計、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数	ら第三: ついて任 -design 定)	者評価: 意記載 .ac.jp		受審年月:		評価			単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 許価機関等か 計、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う:	ら第三 ついて任 -design 定)	者評価: 意記載 .ac.jp	実験・実品	受審年月: 習・実技の授	業時数	評価			単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 許価機関等か な、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う:	ら第三 ついて任 ーdesign 定) っ企業等	者評価: 意記載 .ac.jp	実験・実品	受審年月: 習・実技の授	業時数	評価		45	単位時間単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 許価機関等か な、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う:	ら第三ついて任 -design 定) 定) 企業等 ら企業等	者評価: 意記載 ac.jp	実験・実習象	受審年月: <b>習・実技の授</b> 業時数		評価水一		45	単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 許価機関等か な、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う:	ら第三: ついて任 ーdesign 定) っ企業等 ら企業等	者評価: 意記載 .ac.jp をと連携した多と と連携したる と楽時数 うち企業等と	実験・実程 演習の授美 : 連携した	受審年月: 習・実技の授 業時数 <必修の実験	・実習・実技	評価水一		45 . 45 .	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か ま、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う:	ら第三ついて任 -design 定) 5企業等 5企業等	者評価: 意記載 l.ac.jp をと連携した多と楽時数 うち企業等と うち企業等と	実験・実習の授業 ご連携した ご連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 こ必修の実験 こ必修の演習(	・実習・実技 の授業時数	評価水一		45 . 45 . 45 .	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か ま、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う:	ら第三ついて任 -design 定) 5企業等 5企業等	者評価: 意記載 l.ac.jp をと連携した多と楽時数 うち企業等と うち企業等と	実験・実習の授業 ご連携した ご連携した	受審年月: 習・実技の授 業時数 <必修の実験	・実習・実技 の授業時数	評価水一		45 . 45 . 45 .	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL  企業等と連携したた実習等の実施状況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か ま、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う:	ら第三ついて任 -design 定) 5企業等 5企業等	者評価: 意記載 l.ac.jp をと連携した多と楽時数 うち企業等と うち企業等と	実験・実習の授業 ご連携した ご連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 こ必修の実験 こ必修の演習(	・実習・実技 の授業時数	評価水一		45 . 45 . 45 .	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か 、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う:	ら第三: -design 定) -6企業等 ら企業等 ら企業等	者評価: 意記載 l.ac.jp をと連携した多と楽時数 うち企業等と うち企業等と	実験・実習の授業 ご連携した ご連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 こ必修の実験 こ必修の演習(	・実習・実技 の授業時数	評価水一		45 . 45 . 45 .	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か s、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による第 総授業時数 う:	ら第三: -design 定) -6企業等 ら企業等 ら企業等	者評価: 意記載 l.ac.jp をと連携した多と楽時数 うち企業等と うち企業等と	実験・実習の授業 ご連携した ご連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 こ必修の実験 こ必修の演習(	・実習・実技 の授業時数	評価水一		45 . 45 . 45 .	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か た、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う:	ら第三 一design 定) 一方企業等 うち企業 のかを授	者評価: 意記載 l.ac.jp をと連携した浸 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した	実験・実習の授表 演習の授表 :連携した :連携した :	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験 こ必修の演習 ーンシップの:  習・実技の単	・実習・実技 の授業時数 授業時数)	評価水一		45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か た、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う: 立数による算定 総単位数 う: う:	ら第三 colored design 定) ら企業等等 から企業等等	者評価: 意記載 lac.jp をと連携した浸 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した ると連携した ると連携した ると連携した るとを は ると をと連携した る。	実験・実習の授表 演習の授表 :連携した :連携した :	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験 こ必修の演習 ーンシップの:  習・実技の単	・実習・実技 の授業時数 授業時数)	評価水一		45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か た、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う: 立数による算定 総単位数 う: う:	ら第三 一design 定) 一方企業等 うち企業 のかを授	者評価: 意記載 lac.jp をと連携した浸 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した ると連携した ると連携した ると連携した るとを は ると をと連携した る。	実験・実習の授表 演習の授表 :連携した :連携した :	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験 こ必修の演習 ーンシップの:  習・実技の単	・実習・実技 の授業時数 授業時数)	評価水一		45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か た、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う: 立数による算定 総単位数 う: う:	ら第三 control design 定) 5 企業等等 5 うち企業等 うち企業等 から必修 り 6 から必修 り 6 からからからからからからからからからからからからからからからからからからから	者評価: 意記載 .ac.jp を連携した演 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した をと連携した なと連携した なと連携した なと連携した なと連携した	実験・実習の授ま 連携したこ連携したことインター をインター 実験・実習の単位	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験 こ必修の演習 ーンシップの:  習・実技の単	・実習・実打 の授業時数 授業時数) 位数	詳値ホー		45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン 評価機関等か た、例えば以下に 評価団体: www.kumamoto 立時間による算 総授業時数 う: う: 立数による算定 総単位数 う: う:	ら第三 control control	者評価: 意記載 lac.jp をと連携した多 業時数 うち企業等と 等と連携した ると連携した ると連携した ると連携した るとを連携した るとを ることを ることを ることを ることを ることを ることを ることを	実験・実習の授表 演習の授表 :連携した :連携した :ご連携した :ご連携した	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験 こ必修の演習の 一ンシップの  習・実技の単 位数	・実習・実技	詳値ホー		45	単位時間 単位 中間 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン (計画機関等から、例えば以下に (計画機関等がらい) (対域 (対域 ) (	ら第三 - design 定) - 6企業等 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 7 - 8 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9	者評価: 意記載 .ac.jp  .ac.jp  .ce 連携した多 と連携した多 うち企業等と 等と連携した うち企業等と と連携した多 うち企業等と とを連携した多 うち企業等と とを連携した多	実験・実習の授ま 連携した に連携した にはませいなっ を験・実習の単位 に連携した に連携した に連携した にはませいなっ	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験 こ必修の演習の 一ンシップの  習・実技の単位数  こ必修の実験	・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実技	詳値ホー		45 45	単位時間 単単単単単単単位 単単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン (計画機関等から、例えば以下に (計画機関等がらい) (対域 (対域 ) (	ら第三 - design 定) - 6企業等 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 7 - 8 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9	者評価: 意記載 .ac.jp  .ac.jp  .ce 連携した多 と連携した多 うち企業等と 等と連携した うち企業等と と連携した多 うち企業等と とを連携した多 うち企業等と とを連携した多	実験・実習の授ま 連携した に連携した にはませいなっ を験・実習の単位 に連携した に連携した に連携した にはませいなっ	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験 こ必修の演習の 一ンシップの  習・実技の単位数  こ必修の実験 と必修の実験 と必修の実験 と必修の実験	・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実技	詳値ホー		45 45	単位時間 単単単単単単単単単単単位 中位 中間 単単単単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中位 中位 単位 中位 中位 単位 中位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へんの実施が、	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三 - design 定) - 6企業等 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 7 - 8 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9	者評価: 意記載 .ac.jp  .ac.jp  .ce 連携した多 と連携した多 うち企業等と 等と連携した うち企業等と と連携した多 うち企業等と とを連携した多 うち企業等と とを連携した多	実験・実習の授ま 連携した に連携した にはませいなっ を験・実習の単位 に連携した に連携した に連携した にはませいなっ	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験 こ必修の演習の 一ンシップの  習・実技の単位数  こ必修の実験 と必修の実験 と必修の実験 と必修の実験	・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実技	詳値ホー		45 45	単位時間 単単単単単単単単単単単位 中位 中間 単単単単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中位 中位 単位 中位 中位 単位 中位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三 design 定) る企業等等 を企業等等 がある。 のののでは、 のでは、 のでは、	者評価: a.ac.jp  a.b.ac.jp  a.c.jp  a.c	実験・実装の 学派 連携した 実験 で 実験 で 実験 で 実験 で 実験 で 実 単作 した で よ に こく こく と 大 と 後、 学 に た 後、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か た 後 、 学 に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	受審年月:  留・実技の授業時数  と必修の実験 と必修の演習の ンシップの  習・実技の単 位数  と必修の実験 で必修の実験 でかります。	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 単位数)	詳値 ホー	-AXYURL	45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 中間 単位 単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三任 design 定 定 全 企 全 を 発 を 全 全 を を を を を を を を を を を を を を	者評価:  a.ac.jp  b.e.e.連携した  b.e.e.連携した  b.e.e.e.要等  b.e.e.連携した  c.e.e.要等  b.e.e.連携した  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.	実験・実習の長期の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験である。 この修の実験である。 このを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 単位数)	詳値ホー	-AXYURL	45 45	単位時間 単単単単単単単単単単単位 中位 中間 単単単単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中位 中位 単位 中位 中位 単位 中位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン (計画機関等から、例えば以下に (計画機関等から、例えば以下に (計画団体: (対象 (対象 (対象 ) を (対象 ) を (対象 (対象 ) を (対象 (対象 ) を (対象 ) を (対象 (対象 ) を (対象 (対象 ) を (対象 ) を (対象 (対象 ) を (対象 ) を (対象 (対象 ) を (対象 ) を (対象 ) を (対象 (対象 ) を (対象 ) を (対象 ) を (対象 (対象 ) を (対象 ) を (対象 ) を (対象 (対象 ) を (対象 ) を (対象 ) を (対象 (対象 ) を (	ら第三任 design 定 定 全 企 全 を 発 を 全 全 を を を を を を を を を を を を を を	者評価:  a.ac.jp  b.e.e.連携した  b.e.e.連携した  b.e.e.e.要等  b.e.e.連携した  c.e.e.要等  b.e.e.連携した  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.要等  c.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.	実験・実習の長期の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験である。 この修の実験である。 このを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 単位数)	詳値 ホー	-AXYURL	45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 中間 単位 単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況へん、Bいずれか	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三任 design 定) 5 企 業 等 等 授 (本 必 修 を ) 5 5 企 企 業 等 単	者記載  a.ac.jp  b. と連携した  とと連携した  とと連携した  は、ときと  は、ときと  は、した  は、ときと  は、ときと  は、ない  は、した  は、ない  は、いい  は、	実験・実習の長期の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験である。 この修の実験である。 このを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	・実習・実打	詳値 ホー	第1号)	45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 中間 単位 単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携はた況 (A、Bいずれか に記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三任 design 定	者評価:  a.ac.jp  b.ac.jp  c.ac.jp  c.ac	実験・実習の長期の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験である。 この修の実験である。 このを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	・実習・実打 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数) (専修学社 (専修学社	評価 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号)	45 45	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施・では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三任 design 定	者評価:  a.ac.jp  a.ac	実験・実習の長期の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験である。 この修の実験である。 このを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	・実習・実打 の授業時数) 位数 ・実習・実打 の単位数 の単位数 (専修学材 (専修学材 (専修学材	詳値 ホー なの授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	45 45	単単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のボームページ URL を業等のでは、 はた況かいに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三任 design 定	者評価:  a.ac.jp  a.ac	実験・実習の長期の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験である。 この修の実験である。 このを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	・実習・実打 力授業時数) 位数 位数 ・実習・実打 の単位数 単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科	詳値 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施・では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三任 design 定	者評価:  a.ac.jp  a.ac	実験・実習の長期の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験である。 この修の実験である。 このを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	・実習・実打 力授業時数) 位数 位数 ・実習・実打 の単位数 単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科	詳値 ホー なの授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	45 45	単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 人人人人人人人人人人人人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施化かした況かんに記入)	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三任 design 定	者評価:  a.ac.jp  a.ac.jp  a.b. と連携した  a.b. とをでした  a.b. とをできる  b. とをできる  a.b. とをできる  b. とをできる  a.b. とをできる  a.b. とをできる  a.b. とをできる  a.b. とをできる  b. とをできる  a.b. とをできる	実験・実習の長期の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験である。 この修の実験である。 このを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	・実習・実打 力授業時数) 位数 位数 ・実習・実打 の単位数 単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科	詳値 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	45 45	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施・では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	ら第三任 design 定	者評価:  a.ac.jp  a.ac.jp  a.b. と連携した  a.b. とをでした  a.b. とをできる  b. とをできる  a.b. とをできる  b. とをできる  a.b. とをできる  a.b. とをできる  a.b. とをできる  a.b. とをできる  b. とをできる  a.b. とをできる	実験・実習の長期の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	受審年月:  習・実技の授業時数  こ必修の実験である。 この修の実験である。 このを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	・実習・実打 力授業時数) 位数 位数 ・実習・実打 の単位数 単位数 (専修学科 (専修学科 (専修学科	詳値 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	45 45	単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 人人人人人人人人人人人人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施でする。 とと変響等のいた況か に記入) を教員してついて記	広告制作 ■民間の ※有の場合 https://w	会社、デザイン ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	CBUTCH     CBUTCH	者意記載・ a.ac.jp  a.ac	実験・実験・実験・実験のの関係を表演では、またとうと、実験のの関係を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	受審年月:  習・実技の授  実技のの実験での実験での実験である。  では、とを多いでは、とを通りです。  では、とをできます。  では、とを通りできませる。  では、とをできませる。  では、とを通りできませる。  では、とを通りできませる。  では、とを通りできませる。  では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・実習・実計 の授業時数) 授業時数) 位数 ・実習・実計 の対象 ・実習・実計 の対象 ・実習・実計 の単位数 ・実習・実施 の事修学科 (専修学科 (専修学科	詳値 ホー 数の授業時数 をの単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 4	単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 人人人人人人人人人人人人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の 編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 業界における人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、必要な実務に関する知識や技能などを十分に把握・分析したうえで、当該専門課程の教育を施すためにふさわしいと考えられる授業科目の開設や、授業内容・方法の改善・工夫を行い、企業の要請を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に行うために、教育課程編成委員会を設置する。

### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会委員は学校法人未来創造学園職員及び企業・団体役職者等の外部委員からなるものとし、互いの視点からの意見を積極的に交換・活用し、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置付ける。

教育課程編成委員会は、各学科から示されたカリキュラム等の内容や実施状況について、業界において必要となる技術や知識を有する人材を育てる観点から十分な審議を行い、教育課程の編成や内容についての具体的な方策を講じ、意見表明を行う。 その後、各学科において当該意見を反映した授業実施案を作成し、次回の教育課程編成委員会にて報告・審議・承認を受けたのち、学校長決裁を経て次年度教育課程が決定される。

## (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
川口 滋	くまもとデザイン協議会会長/有限会社ダーク 会長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
古家 達也		令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
内藤謙一	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 学校長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児玉 守	教務部長	31日(1年)	_
高峯 英幸	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児玉 竜也	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
宮﨑 和子	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
  - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月2日 11:00~12:00 第2回 令和7年3月21日 11:00~12:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

笙1回

・知的財産学は、1年次中期にて授業実施。権利の話とデザインを取り巻く業界の状況を時系列で説明しながら学習させる・2年生は引き続き積極的に企業課題を取り組んでいく。

第2回

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

## (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを、関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導が なされるよう研修計画を立てて実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修 機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

教育課程編成委員会等において出された意見を基に、事前に職業教育協定書により協定を締結した企業側講師と担当教員に よる綿密な打ち合わせを行い、授業内容や学修成果の評価方法を決定する。また、演習期間中は随時情報交換を行うことで、 学修効果の向上を図るとともに、演習終了後には、企業側講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価を

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

	は口致についてはしないか			
科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等	
知的財産学	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	本演習はデザイン業界はもとより社会的に重要とされている著作権,意匠権,商標権などの知的財産に関わる基礎的知識や活用方法を履修し,自らが制作した著作物やクライアントから依頼された制作物をビジネス上,管理を円滑に行うための基礎知識を履修する。また,自らが創作した著作物や創作物を模倣された場合の対処方法についても検討を行っていく。		

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「学校法人未来創造学園熊本デザイン専門学校教職員研修規程」に基づき、専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技 能)が何かを、関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立てて実施する。また、 学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から 招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

## (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: Adobe FireflyとAdobe Expressの生成AI機能 連携企業等: 加賀ソルネット

対象: 専門学校教職員等 期間: 令和6年9月18日 15時~16時

[1]学校で役立つ動画活用の事例[2]Adobe Expressの動画作成機能の紹介[3]Adobe Firefly(画像生成AI)と 内容

の連携[4]実習: ExpressとFireflyで動画を制作する

第32回広告セミナー 研修名: 連携企業等:熊本広告業協会

期間: 令和6年9月26日(木) 15時00分~16時30分 対象: 専門学校教職員等

内容 地域の未来を拓くクリエーティブ~ローカル×ソーシャルの実験的アプローチ。

研修名: Adobe公式デジタルクリエイティブ基礎講座 連携企業等:加賀ソルネット

対象: 専門学校教職員等 期間: 令和6年6月12日(水)15時~16時

最新のwebクリエイティブ・ツールの概要と使用するための基礎講座 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 最新生成AIトレンドについて 連携企業等: 未来創造学園

期間: 令和6年7月31日(水)14時15分~16時 対象: 企業・学校関係者等

内容 AI導入の成功事例、AI活用による地域戦略、人材育成の新しい方法論

発達障害のある生徒への具体的な支援/合理的配慮 連携企業等:熊本市発達障がい者支援センターみなわ 研修名:

期間: 令和6年8月4日(木)10時~12時 対象: 学校関係者等

合理的配慮の基本、現場で悩みがちなケースの共有、支援や環境調整等についての考え方 内容

大学志向が高まる中での専門学校における学生募集戦略 研修名: 連携企業等:株式会社進研アド

とは

対象: 専門学校教職員等 令和6年9月24日(火)16時~17時 期間:

高等教育機関[大学・専門学校]の最新動向、高校現場における進路研究の最新動向 内容

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 第33回「広告セミナー」 連携企業等: 熊本広告業協会

期間: 令和7年9月19日(金) 15時00分~16時30分 対象: 専門学校教職員等

内容 いまこそ私たちのパーパスを考える。 講師: 福永琢磨 氏

研修名: 第9弾! Fire Fly ウェブセミナー 連携企業等: 加賀ソルネット

期間: 令和7年6月25日(水)15:00~16:00 対象: 専門学校教職員等

内容教育現場でも大活躍間違いなしのAI動画最新機能を紹介!

研修名: 生成AIの正しい使い方とは?学生と教育現場を守るため 連携企業等:加賀ソルネット の倫理とルール!

期間: 令和7年2月19日(水)15:00~16:00 対象: 専門学校教職員等

内容 生成AIの基礎知識はもちろん、教育現場で安心して活用するための具体的な ポイント。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 専門学校における発達障害支援とは? 連携企業等: 筑波大学ダボットプロジェクト

期間: 令和7年1月16日(火)17時~19時 対象: 一般・学校教職員等

内容 専門学校における発達障害支援をテーマとし、知見、学生支援の実態、支援ツールの活用について

研修名: 本来の専門子校をうべるで教員が同と平来主調査のピンド 連携企業等:株式会社三菱総合研究所

期間: 令和7年2月18日(火)16時~18時 対象: 専門学校教職員等

内容 教職員とともに成長する学校づくり、教職員への支援のあり方、卒業生調査の活用など

研修名: 教育目標の達成に向けた『入学前』からの指導体制づくり 連携企業等:株式会社進研アド

期間: 令和7年8月26日(火)15時~16時 対象: 学校関係者等

内容 近年の大学・短大・専門学校進学者の学力や学習習慣、進学意識について分析

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、 評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は教職員で実施した自己評価を、企業・高等学校・保護者・卒業生等の学校関係者それぞれの視点から意見を伺い、お互いの理解を深めるためのものとする。また、その評価の過程において、自己評価の妥当性を検証するとともに、客観性・透明性をより高め、公共性の高い社会に寄与する学校を目指すことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

### ※(10)及び(11)については任意記載。

## (3)学校関係者評価結果の活用状況

学生支援については概ね良い評価を受けた。学生対応は主に担任が窓口となり、当事者から十分にヒアリングし、本人の意思 を確認して対応している。内容に応じて他分掌とも連絡を密にするよう注力しており、今までのとこと大きな問題となることはなく 機能している。

教育の内部質保証については、職業実践専門課程の認定に伴い順次対応を行っている。今後、情報管理システムを導入し、一元管理を行うとともに、管理体制を階層化し、責任の所在を明確にして管理を徹底していきたい。

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
有田 滿里子	有限会社有田 代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
島村 徹	一般社団法人熊本県建築士事務所協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
田中 千秋	株式会社放送技研 代表取締役	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
古家 達也	株式会社フィールドワークス 代表取締役社長	01H(E+7	企業等委員
甲斐 広美	在校生保護者	014(14)	保護者委員
内村 友造	同窓会会長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	卒業生委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

))

URL: https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing

公表時期: 令和7年7月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者と連携・協力を通じて、健全な学校運営と教職員の資質向上に取り組んでいくことを目的とするため、教育活動等の学校運営状況に関する情報を提供することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(4)   守门子校にのける情報佐供寺への取組に関	<b>剝りるハイトフィン」の項日との対心</b>
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校案内」に掲載
(2)各学科等の教育	ホームページ「学科紹介」に掲載
(3)教職員	ホームページ「教員・職員紹介」に掲載
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「就職支援」に掲載
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校生活」に掲載
	ホームページ「学校生活」に掲載
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「入学案内」及び募集要項に掲載
(8)学校の財務	ホームページ「財務情報」に掲載
(9)学校評価	ホームページ「学校関係者評価結果」に掲載
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・) 本報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing

公表時期: 令和7年7月1日

# 授業科目等の概要

	(文化教養専門課程 グラフィックデザイン科雑貨・パッケージデザイン専攻コース)															
		分類	Į						授	業プ		場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学	授業時	位	講	演習	実験・実習・		校外			企業等との連
						期	数				実 技					携
1	0			社会研究 I	企業及び職種・業種の研究を行い就職への 動機付けを行う。履歴書の書き方やアポイ ントメントの取り方、挨拶の仕方など就職 活動に必要なコミュニケーション方法を身 につける。また一人一人と就職についての 面接、相談を行い丁寧に就職活動を支援し ていく。	1 後	15	0	0			0		0		
2	0			アイデア発想 基礎	広告代理店で広告やCMのディレクションに携わった教員が発想法を指導する。授業を通じて「デザイン発想力の向上」「自分が進むべきデザインの方向性発見」のきっかけになるようなクリエーティブ作品やエピソードを各方面から多数紹介。	1 前	15	0	0			0		0		
3	0			広告概論	様々な広告サンプルや事例を通じて広告媒体の展開方法を学ぶ。また、広告業界で使用されている専門用語を各ジャンルの事例 や資料を通じて深く理解する。	1	15	0	0			0		0		
4	0			ビジュアル研 究 I	現代グラフィックデザインの基礎的な用語、歴史、思想、運動、デザインスタイル、時代を代表する作者とその作品の知識を修得する。また過去の歴史が現在のグラフィックデザインに活用されている事例を学ぶことからデザインスタイルの応用力の理解を深める。	1 通	90	0		0		0		0		
5	0			ビジネスマ ナー	接遇指導の実績のある教員が、社会人としての基礎力を指導する。第一印象から身だしなみ、正しい言葉遣いから、「話す」「聞く」等の表現を実践的に身に付け、公的な場面での好感の持てるマナーやコミュニケーション力を習得する。	1 後	30	0	0			0			0	

6	0	ビジネス概論	経営コンサルタントの実務経験のある教員が利益、集客、価格、などビジネスの仕組みを、各業界別の事例をもとに指導する。ビジネスの構造、流通の仕組み、利益構造の基礎的な知識を修得する。	0
7	0	総合デザイン論	多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、各専門分野の講師陣からオムニバス 1 形式により具体的実例を専門家の考え方や 前 15 〇 〇 手法を理解する。	0
8	0	ドローイング	形のとり方、構図、バランス、質感の観察 力と表現力を養う。モノを創る基本となる 見る力・描く力を養い、観察力・表現力を 高めていく。形を正確に捉えることから始 まり、明暗・立体感・質感の表現へとつな げる。また細密描写や様々な画材による表 現テクニックも学習する。	0
9	0	ベーシックデ ザイン	色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。	0
10	0	タ イ ポ グ ラ フィ	広告代理店の制作部でグラフィックデザインを担当した教員がレタリング技能検定の指導する。また検定後は、文字のデザインの基礎からロゴタイプのデザインのバリエーション展開の演習を行う。	0
11	0	広告デザイン I	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、広告デザインの媒体別基礎知識と企画書の作成とともに市場調査分析、ポジショニング、消費者リストアップ、ターゲットの設定、コンセプトメーキングからカンプの表現手法までを指導する。	0

12	0	社会人基礎	どんな仕事(職種)であれ、それを行っていく上で必要とされるカ=社会人基礎力を磨く。社会の出来事を知る→その背景を考える→考えたことを他人に伝える(知る→考える→伝える)という流れを重視し、実社会にそのままつながる学びの場とする。		0
13	0	DTP基礎	Macintosh を 用 い て Illustrator 、 Photoshop、InDesignの基本的操作と技術を 修得する。雑誌の誌面、チラシ、パンフレットのデザイン制作を通して、文字の優 先順位や可読性を理解し、素材のレイアウト、配色計画、デザインの素材制作の技術を、校正を繰り返しながら習熟する。	0	
14	0	ホームページ 基礎	印刷会社の制作部でWebデザインを担当した 教員が、その経験を生かしてHTMLマーク アップによるインターネット上での情報発 信技術とスタイルシート・コーディングに よるウェブデザインの技法を指導する。	0	
15	0	写真基礎	写真スタジオで広告写真に携わった経験を 持つ教員が、カメラの扱い方から写真の基 礎知識・技術の指導を行う。		0
16	0	造形演習	立方体を同一の型とし、異なる素材による 質感、量感、立体感。存在感の違いを考察 し、美意識の理論的思考を養う。同時に手 仕事による職人的技術を修得し、仕上げ技 術が美に影響する重要性を実技を理解す る。	0	
17	0	知的財産学	弁理士として知的財産業務に携わった経験を持つ教員が、知的財産の基礎知識と活用 1 大法、対処方法について、様々な具体的事 後 15 〇 △ 〇 ○ ○ 例をもとに講義する。		0 0

18	0	修了制作	広告の実務経験がある教員が、地域活性化と社会貢献を目標に自らテーマを求め、グラフィックデザインによる解決策を指導する。問題を提起し、解決策の企画立案から調査分析、デザイン制作、プレゼンテーションまでの広告の一連の流れを修得する。	0
19	0		広告代理店においてクリエイティブディレクターとして広告の企画からマネージメントまでを担当した実務経験のある教員が、2マーケティングからターゲットの分析、設定、チャート作成、企画書作成、プレゼンテーションまでの一連の流れを指導する。	0
20	0	ビジュアル研 究 II	業界講話や活躍されているデザイナーを紹介し、自身の就職活動について意欲的に考える姿勢を身に付ける。グループワークもえで表現する力を養う。そして、その考察したものから意味のあるアウトプットを目指す。	0
21	0	DTP演習	Illustrator、Photoshop、InDesignの基本 的操作と技術を修得する。雑誌の誌面、チ ラシ、パンフレットのデザイン制作を通し て、文字の優先順位や可読性を理解し、素 材のレイアウト、配色計画、デザインの素 材制作の技術を、校正を繰り返しながら習 熟する。	0
22	0	ホームページ デザイン	印刷会社の制作部でWebデザインを担当し制作した経験のある教員がその経験を生かして、HTMLマークアップによる情報の階層化をすることでプログラミングへの検索エンジン最適化をさせ、CSSコーディングによるウェブデザインのトレンドを踏襲しUI、UXを最適化することを指導する。	0
23	0	CIデザイン	ブランディングデザインの基本的な考え方であるCIデザインのプロセスを学習。演習課題や産学連携課題に取り組むことで社会におけるブランディングの位置づけや重要性を理解する。	0

24	0		広告デザインⅡ	広告代理店のクリエーティブ課で広告デザインを担当した教員が、交通広告、テレビ 2 CM、地域活性化のためのポスター制作を指	
25	0		Web演習	Web制作業務に携わった経験を持つ教員がそ の経験を生かしてWebフレームワークに関す る技術を指導する。	
26	0		ビジネス演習	Word、Excelの基本操作を習得し、それぞれ の特徴を活かした処理方法を学習する。 Word・Excel 及びCanvaを利用した実務にお ける応用方法を学習する。	
27	0		モーショング ラフィックス	グラフィックデザインの知識を活かし、その技術を映像の世界に拡張するための基礎知識を学びます。ポスターの静止画のオブジェクトが動き、サウンドとのシンクロによって表現されるモーショングラフィックを体験し、映像はグラフィックの延長線上にある技術である事を学びます。	
28	0		卒業制作	卒業制作は各自が自由に設定したテーマに対し、これまで習得してきたグラフィックデザイン領域に関する専門的な知識や、技術、感性、表現などを使い、これからの社会への問題提起・解決に向けての提案を行っていく。	
29		0	パッケージデ ザイン	平面を山折り谷折りすることで、立体を形成することを理解し、紙の質感、厚み、色の違いからデザイン制作の仕上がりの違いを理解する。パッケージと雑貨が必要とされるシーンをリアルに浮き上がらせ、デザインに定着させる能力を身につける。	

30		0		グラフィック デザイン演習	空間・色彩・文字デザインを意識した、ミニマルデザイン (無駄をはぶいた引き算のデザイン) や、フラットデザイン (平面的なデザイン) による企業ブランドイメージの展開をシミュレーションする。	2 通	90		(	)	C	)	0		
31		0		デザイン書道	パッケージデザインにおいてニーズの高いデザイン書道の基礎的な知識と技術を数多くの表現方法と実践課題を通して修得する。デジタル表現にない線の抑揚、自作の画材、広告やパッケージへの生かし方を実践的に習得し、デジタル時代に希少な表現の幅を広げます。	2通	90	0	(		C			0	

	卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件:	<ul><li>・出席率が80%以上であること</li><li>・当該年次の科目全てに合格すること</li><li>・卒業制作または卒業研究に合格すること</li><li>・当該年次の授業料等諸経費が完納されていること</li></ul>	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法:	学則に定める教育課程に基づき授業科目を履修し、学修の評価によ り科目を修得する。	1 学期の授業期間	15 週		

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。